

SHARP®

はじめに

基本操作

画面の保存

画像の送信

調整と制御

困ったときは

Sharp Advanced Presentation Software (SAPS)

取扱説明書

Professional Edition

For Windows

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用になる前に、必ず[使用許諾契約](#) (2ページ) をご覧ください。

お客さまへのお願い

本製品添付ソフトウェア開封前に必ずお読みください。

弊社では、本製品に添付されているソフトウェアにつきまして、下記の使用許諾契約(以下「本契約」といいます。)を設けさせていただいており、お客様が本契約にご同意いただいた場合のみ、本ソフトウェアを無償でご使用いただいております。お手数ではございますが、添付ソフトウェアパッケージの開封前に本契約を十分お読みください。本契約にご同意いただけない場合には、添付ソフトウェアを開封しないでください。添付ソフトウェアパッケージを開封された場合には、本契約にご同意いただいたものとさせていただきます。

使用許諾契約

シャープ株式会社(以下弊社といいます。)=、お客様(個人または法人を問いません。)=に対し、弊社プロジェクター(以下「本製品」といいます。)=に添付されているソフトウェア・プログラム(以下「許諾ソフトウェア」といいます。)=を日本国内で使用する権利を下記条項に基づき許諾し、お客様も、添付ソフトウェアのパッケージを開封することによって、下記条項にご同意いただいたものとさせていただきます。

第1条 著作権

1. 「許諾ソフトウェア」に関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属し、それらは日本国の著作権法、その他の関連して適用される法律および国際条約によって保護されています。したがってお客様は「許諾ソフトウェア」を他の著作物と同様に扱わなければなりません。
2. 「許諾ソフトウェア」とともに提供されるマニュアルまたは取扱説明書等の関連資料(以下「関連資料」といいます。)=の著作権は、弊社に帰属し、これらは日本国の著作権法、その他関連して適用される法律および国際条約によって保護されています。お客様は、これらの「関連資料」を複製することはできません。

第2条 権利の許諾

お客様は、「許諾ソフトウェア」を「本製品」に接続するコンピュータにインストールして使用することができます。

第3条 制限およびその他の権利

1. お客様は、「許諾ソフトウェア」をリバースエンジニア、逆コンパイル、または逆アセンブルすることはできません。
2. お客様は、本契約に明示的に許諾されている場合を除いて、「許諾ソフトウェア」を使用できません。
3. お客様は、日本国内においてのみ「許諾ソフトウェア」を使用することができます。
4. お客様は、「許諾ソフトウェア」および「関連資料」に付されている著作権表示およびその他の権利表示を除去することはできません。
5. お客様は、「本製品」をレンタル又はリースする場合、「許諾ソフトウェア」を当該第三者にレンタル又はリースすることができます。ただし、当該第三者が本契約に同意することを条件とします。

第4条 保証の制限

1. 「許諾ソフトウェア」および「関連資料」は、何ら保証もない現状有姿のまま提供されるものです。お客様による「許諾ソフトウェア」および「関連資料」のいかなる使用についても、そのリスクはお客様が負うもので、弊社が責任を負うものではありません。
2. 前項の規定にかかわらず、弊社が「許諾ソフトウェア」の誤り(バグ)を修正したときは、弊社は、この誤りを修正したソフトウェアもしくは修正のためのソフトウェア(以下、これらのソフトウェアを「修正ソフトウェア」といいます。)=またはこの修正に関する情報を弊社のホームページ上でお客様に提供するものとします。ただし、当該「修正ソフトウェア」または情報をアフターサービスとして提供する決定を、弊社がその裁量によりなした場合に限り、お客様に提供された「修正ソフトウェア」は「許諾ソフトウェア」とみなします。
3. 「許諾ソフトウェア」の記録媒体に物理的欠陥が発見され、「許諾ソフトウェア」の使用に支障をきたす場合には、お客様が「本製品」をお受け取りになった日から2週間以内に、その日付を記した保証書を添えて弊社に当該「許諾ソフトウェア」の記録媒体を返却されたときには、弊社は無償で当該記録媒体を交換するものとします。ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限り、弊社は無償で当該記録媒体を交換するものとします。ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限り、弊社は無償で当該記録媒体を交換するものとします。

第5条 責任の制限

1. 弊社は、いかなる場合も、お客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害(損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合も含みます。)=および第三者からお客様になされた損害賠償請求に基づく損害について一切責任を負いません。
2. いかなる場合においても、本契約に基づく弊社の責任は、お客様が実際にお支払いになった「本製品」の代金相当額をその上限とします。

第6条 期間

1. 本契約は、お客様が「本製品」を購入された日から効力を有するものとします。
2. お客様は、弊社まで書面により通知することによって、本契約に基づき許諾される「許諾ソフトウェア」に関する権利を終了させることができます。
3. 弊社は、お客様が本契約のいずれかの条項に違反されたときには、いつでも本契約に基づき許諾される「許諾ソフトウェア」に関する権利を終了させることができます。
4. 本契約に基づき許諾される「許諾ソフトウェア」に関する権利が終了した場合には、お客様は、上記権利終了後直ちに「許諾ソフトウェア」、および「関連資料」をすべて破棄するものとします。

第7条 その他

1. お客様は、いかなる方法および目的によっても、「許諾ソフトウェア」を日本国外に輸出してはいけません。
2. 本契約に関連して発生した紛争は、大阪地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

もくじ

はじめに	
もくじ	3
はじめに	4
必要なハードウェア・ソフトウェア	5
液晶プロジェクターとパソコンを接続する	6
インストールする	9
ご参考に	13
基本操作	
起動と終了	14
基本的な設定	19
液晶プロジェクターを操作するための設定	21
複数台プロジェクターの操作	29
パソコン側の赤外線通信(IrCOM)を設定する	34
画面の保存	
オープニング画面としてカスタム画面を保存する	37
画像の送信	
画像を送信する	38
調整と制御	
パスワード	47
キーロックのレベルを選択する	50
プロジェクターに名前をつける	52
Eメールで液晶プロジェクターのエラーを知らせる	54
エラー履歴一覧について	57
液晶プロジェクターの電源をタイマーで「切」にする	58
ビデオウォールの設定	59
画像を調整する	62
パソコンで液晶プロジェクターの設定をする	66
RS-232C設定の保存と読み込み	75
ソフトウェアをアンインストールする	77
困ったときは	
困ったときは	80
用語集	83
PDF取扱説明書について	86
液晶プロジェクター機種別対応機能一覧	87
お客さまご相談窓口のご案内	88

はじめに

シャープ液晶プロジェクター用ソフトウェアSharp Advanced Presentation Software Professional Edition(以下SAPSプロ)は、パソコンから送信した画像を使い、より効果的なプレゼンテーションを可能にします。

画像送信

SAPSプロは、シャープ液晶プロジェクター、およびRS-232Cケーブル接続、LANケーブル接続または赤外線通信(IrCOM)が可能な機器と共に使用します。

SAPSプロからは次のような方法で画像を液晶プロジェクターへ送信します。

プレゼンテーション送信

あらかじめ使用したいスライドをBMP形式、あるいはJPEG形式でパソコンに保存しておけば、液晶プロジェクターへ送信できます。

画像送信

お手元のパソコン画面に表示されている画像を簡単なボタン操作で液晶プロジェクターへ送信できます。

クイック送信

マウスを右クリックするだけで、即座に画像キャプチャー・送信モードに入ることができます。

ガンマ補正

液晶プロジェクターのガンマ値を、お手元のパソコンから直接調整できます。(調整は、ネットワーク<COMポート、LANポート接続>を介して行います。)

RS-232Cコントロール

液晶プロジェクターの機能や調整を、お手元のパソコンから直接操作できます。最大250機の液晶プロジェクターを一台のパソコンから一括制御できます。また、これまで高価な機材が必要だったビデオウォール投影にも対応しています。

メモ

- 赤外線による画像送信を行うには、液晶プロジェクターXV-N1500をお使いください。その他の機種は、赤外線による画像送信には対応していません。
- 液晶プロジェクターXG-V10Wは、JPEG形式の画像の送信には対応していません。

SAPSプロはWindows95,98およびWindowsNT専用のソフトウェアです。この取扱説明書はWindows とマウスの使いかたを理解している読者を対象に書かれています。Windowsについての不明な点は、Microsoft社のWindows95,98あるいはWindowsNTの取扱説明書をご覧ください。また、本ソフトウェアの仕様は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

必要なハードウェア・ソフトウェア

SAPSプロを使うためには、次のハードウェアやソフトウェアが必要です。

Microsoft Windows95,98 あるいは WindowsNT (いずれも日本語版)の動作するパソコン	
CPU	233 MHz Pentium以上を推奨
ディスプレイ	解像度800×600ドット以上 同時発色数65,536色以上
メモリー	32 MB以上
HDD空き容量	80 MB以上
インターフェース	RS-232Cシリアルポート
CD-ROMドライブ	

メモ

液晶プロジェクター以外にシリアル接続されている機器がある場合、シリアルポート設定等が正しく行われないと、SAPSプロの誤動作の原因となることがあります。

赤外線通信(IrCOM)をお使いになるには…

液晶プロジェクターXV-N1500をお使いの場合、画像を赤外線通信(IrCOM)で送信することもできます。この場合、パソコン側には内蔵の赤外線通信ポートまたは外付けの赤外線通信アダプターが必要です。

● Windows95をお使いの場合

お使いのパソコンにMicrosoft社製Windows95用赤外線通信ドライバVer2.0日本語版がインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、Microsoft社のインターネット・サイトからダウンロードできます。

(http://www.microsoft.com/JAPAN/win95/modules/at_ir20.htm)

● Windows98をお使いの場合

Windows98は標準でIrDA準拠赤外線通信をサポートしています。

詳しくは、Windows98の取扱説明書をご覧ください。

● WindowsNTをお使いの場合

赤外線通信(IrCOM)はご使用になれません。

● 赤外線通信の通信速度は、パソコン側のIrDAのバージョンによって異なります。

- IrDA1.0の場合…9,600bps～115.2kbps

- IrDA1.1の場合…4Mbps

実際の通信速度は、パソコンがサポートしているIrDAのバージョンにより異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。

注意

自作機やマザーボードの変更などの改造を加えているパソコンに関しては、動作保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標または商標です。
- Acrobat、Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporatedの登録商標または商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。
- 本書に記載されている事柄は、お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。またパソコンの動作環境や処理能力によっては、動作が遅くなる場合があります。

液晶プロジェクターとパソコンを接続する

SAPSプロを使うためには、RS-232Cケーブル(クロス・メス-メスタイプ)またはLANケーブルで接続するか、赤外線通信が可能な状態にしなければなりません。接続の詳細については、液晶プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

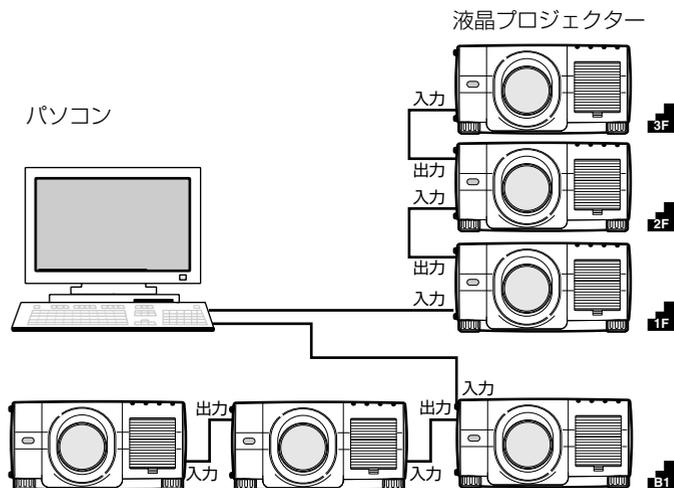
【注意】

接続する前に液晶プロジェクター、パソコン双方の電源が「切」になっていることを確認してください。接続完了後は液晶プロジェクターの電源を先に入れてください。常にパソコンの電源は後に入れます。

(電源を入れた後に接続すると、液晶プロジェクターやパソコンの故障の原因となります。)

複数台の液晶プロジェクターとパソコンを接続する

ID番号を用いた接続(XG-V10WJのみでネットワークを構成する場合)



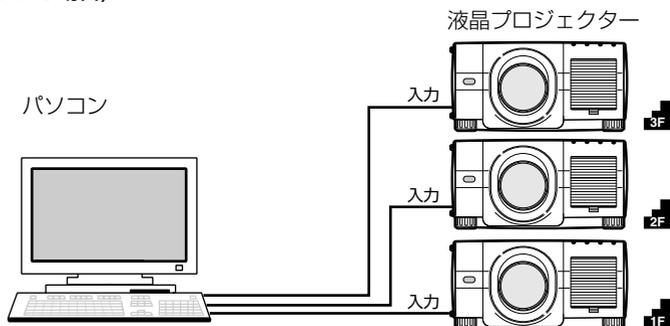
- 液晶プロジェクターとパソコン、または液晶プロジェクター同士を接続するときは、液晶プロジェクターのRS-232C入力/出力端子を使用します。
- 接続できる液晶プロジェクターは最大250台です。
- COMポートは10ポートまで使用できます。
- デイジーチェーン(順次連鎖)接続も可能です。
- LANケーブルによる接続も可能です。(別売の拡張カード「AN-L10T」が必要になります。)

- 液晶プロジェクターの機能については、「[液晶プロジェクター機種別対応機能一覧](#)」(87ページ)をご覧ください。

メモ

AN-L10Tは近日発売予定です。

ID番号を用いない接続(XG-V10WJ以外の液晶プロジェクターがネットワークに含まれる場合)



- 接続できる液晶プロジェクターは最大10台です。
- COMポートは10ポートまで使用できます。
- デイジーチェーン(順次連鎖)接続には対応していません。
- ケーブルによるLAN接続には対応していません。
- 液晶プロジェクターの機能については、「[液晶プロジェクター機種別対応機能一覧](#)」(87ページ)をご覧ください。

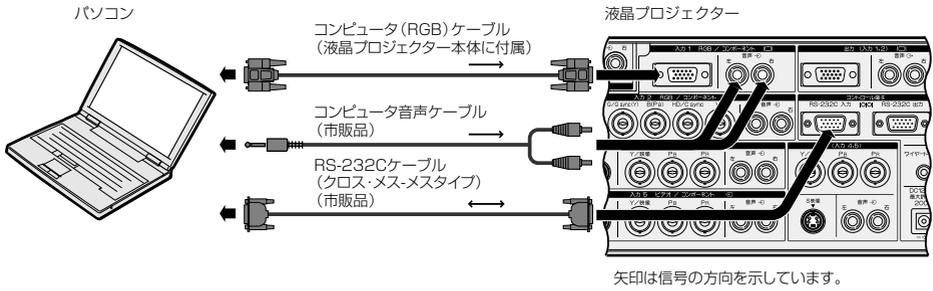
メモ

COMポート1つにつき1台の液晶プロジェクターを接続します。COMポート接続の場合、接続する液晶プロジェクターの台数分のCOMポートが必要です。COMポートの数が足りないときは、市販の拡張カードによりCOMポートを増設することができます。

1台の液晶プロジェクターとパソコンを接続する

RS-232Cケーブル接続

接続の詳細は液晶プロジェクターの取扱説明書を参照してください。



メモ

必ずパソコンの取扱説明書もあわせてご覧ください。

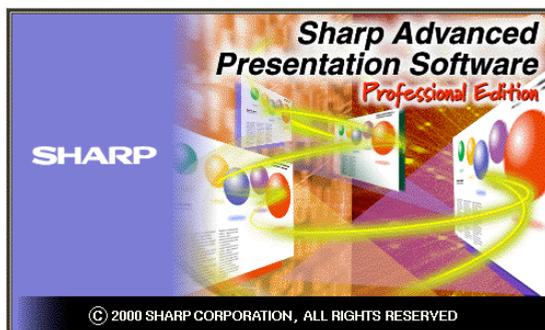
インストールする

「SAPSプロ CD-ROM」に入っているインストーラで本ソフトウェアをインストールします。

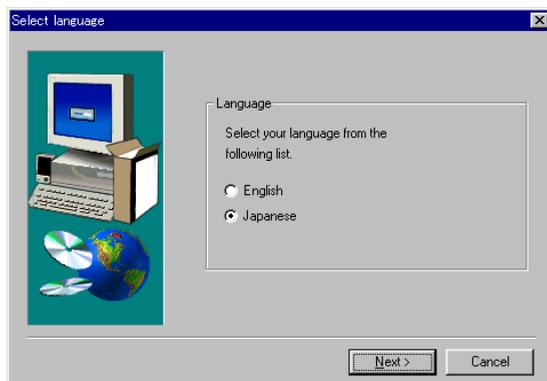
- 1** インストールするパソコンが本ソフトウェアに対応していることを確認します。
詳しくは、「[必要なハードウェア・ソフトウェア](#)」(5ページ)をご覧ください。
- 2** 起動中の他のアプリケーションを終了させます。
- 3** すでに旧バージョンのSAPSがインストールされている場合は、これをアンインストールします。
アンインストールについて詳しくは、「[ソフトウェアをアンインストールする](#)」(77ページ)をご覧ください。
- 4** 「Sharp Advanced Presentation Software Professional Edition CD-ROM」をパソコンのCD-ROMドライブにセットします。
- 5** 「スタート」メニューの「ファイル名を指定して実行(R)...」を選びます。



- 6 「R:¥saps_pro¥setup.exe」と入力して「OK」をクリックします。
(CD-ROMドライブがRドライブ以外の場合はそのドライブ名を入力してください)
しばらくすると起動画面が表示されます。



- 7 インストールする言語を「Japanese」にします。



8 内容を確認し、「次へ(N)>」をクリックします。



「インストール先の選択」ダイアログが開きます。

9 インストール先を指定し、「次へ(N)>」をクリックします。

特に問題がなければ、変更する必要はありません。



「自動起動の選択」ダイアログが開きます。

10 パソコンを立ち上げるたびに自動的に本ソフトウェアを起動するために、「自動起動」の欄で「ON」をクリックします(推奨)。

メモ

「自動起動」を「ON」に設定すると、タスクトレイに「Sharp Advanced Presentation Software Professional Edition」アイコンが常駐します。「OFF」に設定した場合には、デスクトップの「Sharp Advanced Presentation Software Professional Edition」ショートカットアイコンを利用するか、「スタート」ボタンの「プログラム」から本ソフトウェアを起動してください。



- 11** 「インストール(N)>」をクリックします。
インストールが始まります。



- 12** インストールが完了したら「完了」をクリックします。
インストールが終了すると、「セットアップの完了」ダイアログが開きます。



- 13** すぐに本ソフトウェアを使用する場合は、コンピュータを再起動してください。

ご参考に

液晶プロジェクターとパソコンをネットワーク(COMポートまたはLANポート)に接続すると、次の5つの機能が利用できます。

1

BMPあるいはJPEG形式で保存したスライドをプレゼンテーションで使
用したい。



["プレゼンテーション送信"が最適です。](#)
速く簡単に、プレゼンテーションを演出します。(38ページ)

2

パソコン画面に表示されている画像を投影したい。



["画像送信"が最適です。](#)
簡単な操作で画面をキャプチャーし、液晶プロジェクターに
送ります。(43ページ)

3

今すぐにこの画像を投影したい。



["クイック送信"が最適です。](#)
マウスボタンを使ったショートカット機能で、すぐに画像を
液晶プロジェクターに送信します。(45ページ)

4

スクリーンに映し出された画像のR、G、B各色の明るさを調整したい。



["ガンマ補正"機能で調整しましょう。](#)
ネットワーク(COMポートまたはLANポート)に接続しておけ
ば、お手元のパソコンから明るさ調整が可能です。(62ページ)

5

席を立たずに、液晶プロジェクターの機能調整をしたい。



["RS-232Cコントロール"機能で調整しましょう。](#)
ネットワーク(COMポートまたはLANポート)に接続しておけ
ば、お手元のパソコンから液晶プロジェクターの調整が可能で
す。(66ページ)

SAPSプロを起動する

SAPSプロを起動する前に、液晶プロジェクターとパソコンが正しく接続されているか確認してください(6ページ)。起動の方法は3通りあります。

▶タスクトレイの「Sharp Advanced Presentation Software Professional Edition」アイコンから起動する



Sharp Advanced Presentation Software Professional Edition アイコン

メモ

このアイコンは自動起動の設定が「入」に設定されている場合に表示されます。[自動起動の設定](#)については19ページを参照してください。

- 1 液晶プロジェクターの電源を入れ、通信できる状態にします。
必ずパソコンを立ち上げる前に、液晶プロジェクターの電源を入れてください。

メモ

XV-N1500をお使いの場合

パソコンの画像を受信するには、液晶プロジェクター本体またはリモコンのIrCOMボタンを押して、IrCOMモードにします。
詳しくは液晶プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

- 2 パソコンを立ち上げ、タスクトレイの「Sharp Advanced Presentation Software Professional Edition」アイコンをクリックします。

SAPSプロが起動します。



ショートカットボタン

▶ 「スタート」ボタンから起動する



- 1** 液晶プロジェクターの電源を入れ、通信できる状態にします。
必ずパソコンを立ち上げる前に、液晶プロジェクターの電源を入れてください。

メモ

XV-N1500をお使いの場合

パソコンの画像を受信するには、液晶プロジェクター本体またはリモコンのIrCOMボタンを押して、IrCOMモードにします。
詳しくは液晶プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

- 2** パソコンを立ち上げ、「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム (P)」、「Sharp Advanced Presentation Software Professional Edition」の順にポイントし、希望するモードを選びます。
選択したモードのウィンドウが開きます。



▶ デスクトップの「Sharp Advanced Presentation Software Professional Edition」ショートカットアイコンから起動する



- 1** 液晶プロジェクターの電源を入れ、通信できる状態にします。
必ずパソコンを立ち上げる前に、液晶プロジェクターの電源を入れてください。

メモ

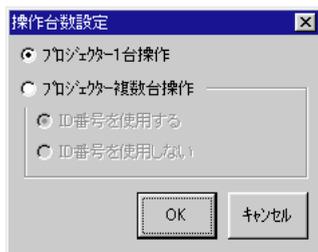
XV-N1500をお使いの場合

パソコンの画像を受信するには、液晶プロジェクター本体またはリモコンのIrCOMボタンを押して、IrCOMモードにします。
詳しくは液晶プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

- 2 パソコンを立ち上げ、デスクトップの「Sharp Advanced Presentation Software Professional Edition」ショートカットアイコンをダブルクリックします。次に希望するモードを選びます。選択したモードのウィンドウが開きます。

操作台数を設定する

- 1 「ファイル(F)」メニューから「操作台数設定」を選びます。



- 2 操作台数モードを選びます。

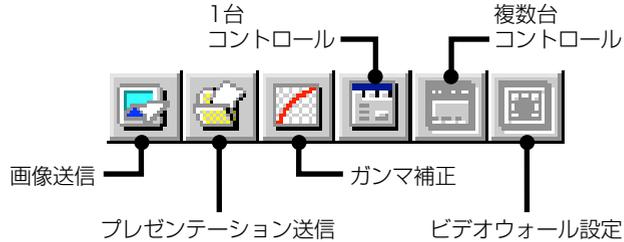
- 1台の液晶プロジェクターを操作するときは、「プロジェクター1台操作」を選びます。
- 複数台の液晶プロジェクターを操作するときは、「プロジェクター複数台操作」を選び、さらに「ID番号を使用する」「ID番号を使用しない」のいずれかを選択します。

メモ

- 「ID番号を使用する」場合、一度に最大250台まで操作できます。ただし、操作できる液晶プロジェクターの機種はXG-V10Wに限られます。
- 「ID番号を使用しない」場合、一度に操作できる台数は10台までとなりますが、XG-V10W以外の液晶プロジェクターを操作することができます。

モードを選択する

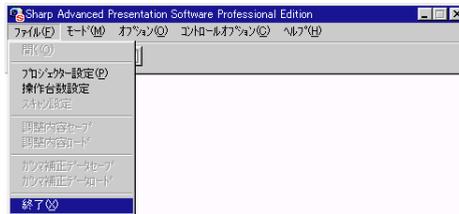
- 1 液晶プロジェクターの電源を入れます。
必ずパソコンを立ち上げる前に、液晶プロジェクターの電源を入れてください。
- 2 「モード(M)」メニューから希望するモードを選びます。またはメニューバーの下にあるショートカットボタンのどれかをクリックします。



選択したモードのウィンドウが開きます。

SAPSプロを終了する

「ファイル(F)」メニューから「終了(X)」を選びます。またはウィンドウ右上の  ボタンをクリックします。

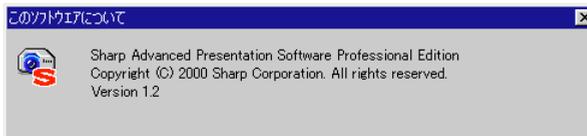


ヘルプ機能

ヘルプを見たい場合は、SAPSプロの「ヘルプ(H)」メニューから「ヘルプ」を選びます。「Sharp Advanced Presentation Software Professional Edition Help」ウィンドウが開いたら、表示したい項目をクリックします。



ご利用のSAPSプロのバージョン情報を知るには、「ヘルプ(H)」メニューから「このソフトウェアについて」を選びます。



自動起動設定の変更

標準インストールの状態では、自動起動設定は「入」に設定されており、パソコンを立ち上げると自動的にSAPSプロが起動します。以下の手順で設定を変更できます。

1 「オプション(O)」メニューから「自動起動 入/切」を選びます。

2 希望する設定を選びます。



「自動起動 入」を選ぶと

- タスクトレイに「Sharp Advanced Presentation Software Professional Edition」アイコンが常駐します。
- パソコンを立ち上げると、自動的にSAPSプロが起動します。

「自動起動 切」を選ぶと

- タスクトレイから「Sharp Advanced Presentation Software Professional Edition」アイコンが消えます。
- SAPSを起動するには、「スタート」ボタンから行うか、デスクトップの「Sharp Advanced Presentation Software Professional Edition」ショートカットアイコンをダブルクリックします。

圧縮率を変更する

「プレゼンテーション送信」や「画像送信」の場合、BMP形式画像の圧縮率を変更できます。

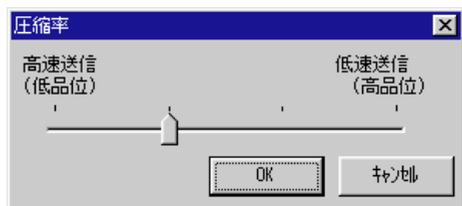
メモ

液晶プロジェクターXG-V10Wをお使いの場合は、圧縮率変更機能は使用できません。

圧縮率について

- 標準インストールの状態では「中間」に設定されています。
- オープニング画面や無信号時画面のカスタム画像(BMP形式)の場合は、自動的に「低速送信(高品位)」設定になります。画質の低下を最小限に抑えるため、圧縮を行わずそのままの形式で送信します。
- 圧縮率を変更した場合、その設定はファイルとして各々画像フォルダ内に保存できます。また、圧縮後のファイルもフォルダに保存できるため、以後圧縮に要する時間が短縮されます。

1 「オプション(O)」メニューから「圧縮率」を選びます。

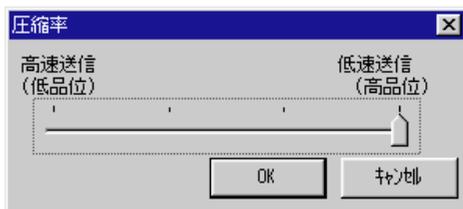


← 右 →

より高速に、しかし画質は低下

より高画質に、しかし低速で

2 希望の圧縮率の位置まで、画面のスライダをドラッグ&ドロップします。



- ### 3 「OK」をクリックします。
- 指定したフォルダの圧縮率が変更されます。

液晶プロジェクターを操作するための設定

液晶プロジェクターの操作を行う前に、まずソフトウェア側にプロジェクターの設定を行う必要があります。設定は「スキャン設定」または「プロジェクター設定」で行います。

プロジェクターのID番号を使って複数台のプロジェクターを操作するには：通常は「スキャン設定」で設定を行いますが、「プロジェクター設定」でも同じ設定を行うことができます。

プロジェクターのID番号を使わずに個別または複数台のプロジェクターを操作するには：「プロジェクター設定」で設定を行います。

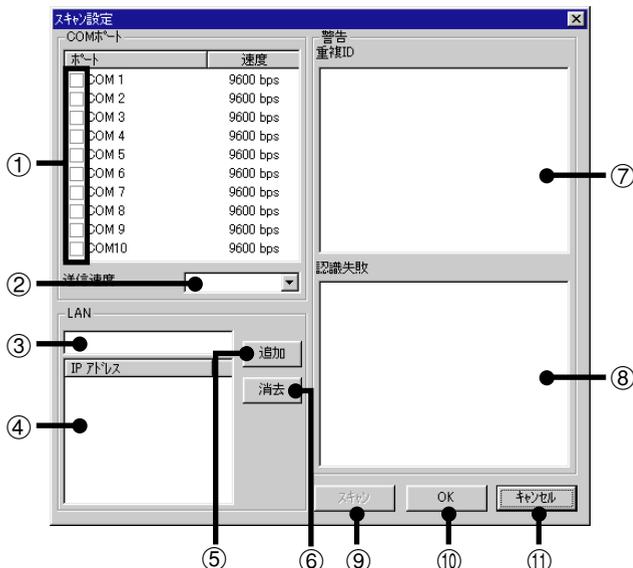
メモ

ID番号を使ってプロジェクターを操作するには、プロジェクター側でID番号の設定を行う必要があります。

スキャン設定

スキャン設定を使うと、スキャンするCOMポートやIPアドレスをあらかじめ設定し、スキャンをスタートさせるだけで、SAPSプロがポートとプロジェクターの認識・識別と、必要な設定を自動で行います。

- 1 「ファイル(F)」メニューから「スキャン設定」を選びます。
スキャンするプロジェクターをここで設定します。



- ① 使用するCOMポートのチェックボックス
- ② COMポートの送信速度の設定
- ③ 使用するIPアドレス入力領域
- ④ 入力IPアドレスのリストのチェックボックス
- ⑤ 「追加」ボタン
IPアドレスを入力した後でクリックすると、そのアドレスが④のリストに追加されます。
- ⑥ 「消去」ボタン
IPアドレスを選択した後でクリックすると、そのアドレスが消去されます。
- ⑦ スキャンした後のIDが重複しているプロジェクターのリスト
- ⑧ スキャンした後のIDが見つからないプロジェクターのリスト
- ⑨ 「スキャン」ボタン
- ⑩ 「OK」ボタン
- ⑪ 「キャンセル」ボタン

2 プロジェクターが接続されているポートを設定します。

- ①で、プロジェクターが接続されているCOMポートのチェックボックスにチェックを入れます。
- LANを使うには、③でIPアドレスを入力して「追加」ボタンをクリックしてから、④でチェックボックスにチェックを入れます。

3 「スキャン」をクリックします。

設定されたIPアドレスの消去

1 消去するIPアドレスを④で選びます。

2 「消去」をクリックします。



LAN接続には、別売の拡張カード(AN-L10T)が必要になります。
AN-L10Tは近日発売予定です。

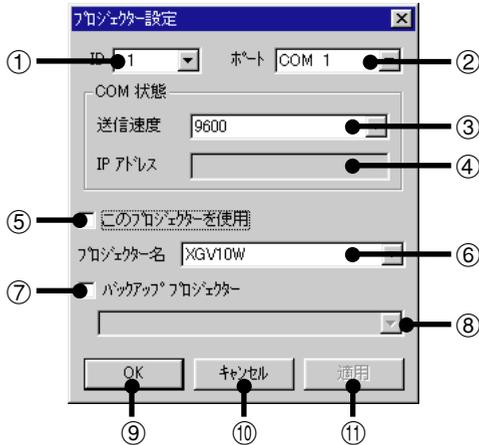
プロジェクター設定

「操作台数モード」として「プロジェクター複数台操作(ID番号を使用する)」を選択したときには、スキャン設定の自動識別機能を使わずに手動でプロジェクターを追加することができます。また、「プロジェクター複数台操作(ID番号を使用しない)」または「プロジェクター1台操作」を選択したときには、「プロジェクター設定」でそれぞれの設定を行います。

メモ

本ソフトウェアの画面は「XGV10WJ」を「XGV10W」と表示します。

- 1 「ファイル(F)」メニューから、「プロジェクター設定(P)」を選びます。「プロジェクター設定」ウィンドウが開きます。



- ① ID番号の選択
- ② ポートの選択
- ③ 送信速度の設定
- ④ IPアドレスの設定
- ⑤ 使用可能/使用禁止チェックボックス
- ⑥ プロジェクターの機種名の選択
- ⑦ バックアッププロジェクターチェックボックス
ここにチェックを入れると、温度エラー、ファンエラー、フィルターカバーエラー、ランプエラーのうち、いずれかのエラーがプロジェクターの動作中に発生して電源がOFFとなったとき、あらかじめバックアップ用として割り当てておいたプロジェクターを自動的に起動し、エラーが発生したプロジェクターの各種設定値(入力設定など)をバックアップ用プロジェクターへ適切に反映することができます。
- ⑧ バックアッププロジェクターの機種名の選択
- ⑨ 「OK」ボタン
- ⑩ 「キャンセル」ボタン
- ⑪ 「適用」ボタン

2 ID番号を選びます。

3 プロジェクターが接続されているポートを選びます。

メモ

ここで「LAN」を選択した場合は、プロジェクターのIPアドレスを入力します。

4 パソコンとプロジェクターの間の送信速度を選びます。

メモ

- ここで設定する送信速度とプロジェクター側の送信速度は同じ速度に設定します。
- プロジェクターの送信速度の設定方法については、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

5 接続されているプロジェクターの機種名を選び、「このプロジェクターを使用」チェックボックスにチェックを入れます。

6 エラーが発生したときにバックアッププロジェクターに各種設定値を反映する場合は、「バックアッププロジェクター」チェックボックスにチェックを入れ、プロジェクターの機種名を選びます。

メモ

- この機能は、本ソフトウェアが動作しているときのみ有効です。
- この機能は、XG-V10Wをお使いの場合のみ利用できます。
- バックアップ用として割り当てるプロジェクターは、通常スタンバイモードの状態になっているプロジェクターにしてください。常時使用しているプロジェクターをバックアップ用プロジェクターとして誤って割り当てますと、バックアップ機能が働いた際に、意図しない映像が表示される可能性がありますのでご注意ください。

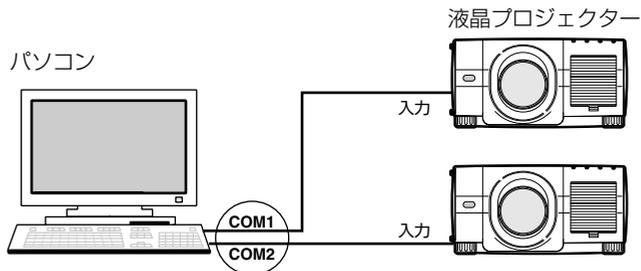
7 「適用」ボタンをクリックします。

プロジェクター複数台操作(ID番号を使用しない)モードの場合

- 1 「ファイル(F)」メニューから、「プロジェクター設定(P)」を選びます。
- 2 プロジェクターが接続されているポートを選びます。
- 3 パソコンとプロジェクターの間の送信速度を選びます。
メモ
 - ここで設定する送信速度とプロジェクター側の送信速度は同じ速度に設定します。
 - プロジェクターの送信速度の設定方法については、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。
- 4 接続されているプロジェクターの機種名を選び、「このプロジェクターを使用」チェックボックスにチェックを入れます。
- 5 エラーが発生したときにバックアッププロジェクターに各種設定値を反映する場合は、「バックアッププロジェクター」チェックボックスにチェックを入れ、プロジェクターの機種名を選びます。
メモ
 - この機能は、本ソフトウェアが動作しているときのみ有効です。
 - この機能は、XG-V10Wをお使いの場合のみ利用できます。
 - バックアップ用として割り当てるプロジェクターは、通常スタンバイモードの状態になっているプロジェクターにしてください。常時使用しているプロジェクターをバックアップ用プロジェクターとして誤って割り当てますと、バックアップ機能が働いた際に、意図しない映像が表示される可能性がありますのでご注意ください。
- 6 「適用」をクリックします。

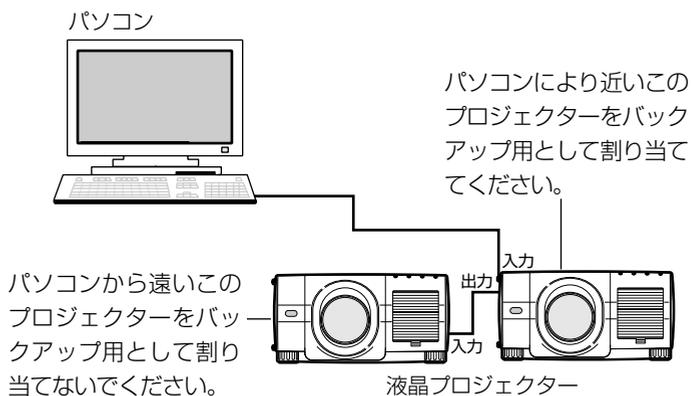
バックアップ機能を使用する際の接続方法について

- バックアップ機能を使用する際は、できるだけ次のようにデジチェーン(順次連鎖)接続をしないで、それぞれ別々のポートを使用して下さい。



バックアップされるプロジェクター(普段使用するプロジェクター)と、バックアップ用として割り当てるプロジェクター(通常はスタンバイモードの状態では待機しているプロジェクター)とで、別々のポートを使用してください。

- デジチェーン(順次連鎖)接続をする場合は、次のようにパソコンにより近いプロジェクターをバックアップ用として割り当ててください。(パソコンから遠いプロジェクターをバックアップ用に割り当てますと、バックアップ機能が正常に働かない場合があります。)



バックアップ機能作動後の初期化方法

プロジェクターでエラーが発生し、バックアップ機能が作動した場合は、次の手順でプロジェクターのエラーの解決、およびバックアップ機能の初期化作業を行ってください。

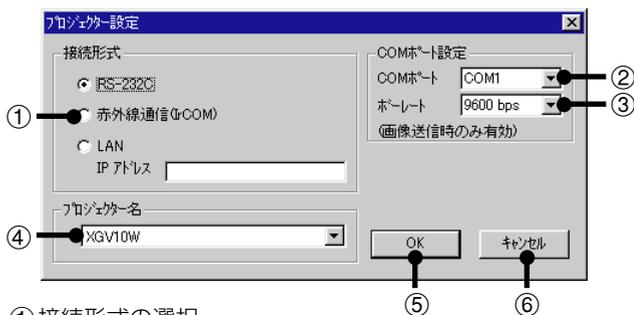
- 1** 「プロジェクター設定」ウィンドウで、エラーが発生したプロジェクターを選びます。
- 2** 「このプロジェクターを使用」チェックボックスのチェックを外し、「適用」をクリックします。
この時、「バックアッププロジェクター」チェックボックスのチェックも自動的に外れます。
- 3** プロジェクターにおけるエラーを解決します。
- 4** 「プロジェクター設定」ウィンドウで、エラーを解決したプロジェクターを選び、「このプロジェクターを使用」チェックボックスにチェックを入れます。
- 5** バックアップ用のプロジェクターとして適切なプロジェクターが選択されているかを確認し、「バックアッププロジェクター」のチェックボックスにチェックを入れます。
- 6** 「適用」をクリックします。

メモ

「エラー」とは温度エラー、ファンエラー、フィルターカバーエラー、ランプエラーのいずれかを表します。

プロジェクター1台操作モードの場合

- 1 「ファイル(F)」メニューから、「プロジェクター設定(P)」を選びます。
「プロジェクター設定」ウィンドウが開きます。



- ① 接続形式の選択
- ② ポートの選択
- ③ 送信速度の設定
- ④ プロジェクターの機種名を選択
- ⑤ 「OK」ボタン
- ⑥ 「キャンセル」ボタン

- 2 接続形式を選びます。

- 3 プロジェクターが接続されているポートを選びます。

- 4 パソコンとプロジェクターの間の送信速度を選びます。

メモ

- ここで設定する送信速度とプロジェクター側の送信速度は同じ速度に設定します。
- プロジェクターの送信速度の設定方法については、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

- 5 接続されているプロジェクターの機種名を選びます。

- 6 「OK」をクリックします。

複数台プロジェクターの操作

複数台コントロール

接続された複数台の液晶プロジェクター(6ページ参照)をパソコンから操作します。接続によっては、最大で250台のプロジェクターを操作できます。

- 1 「操作台数を設定する」(16ページ)の手順1と2を繰り返します。
- 2 「モード(M)」メニューから「複数台コントロール(M)」を選びます。「複数台コントロール」ウィンドウが開きます。



メニューバーの下にある  ボタンを押しても「複数台コントロール」ウィンドウを開くことができます。(詳しくは「[SAPSプロを起動する](#)」14ページを参照してください。)

全プロジェクター：接続されたすべてのプロジェクターを制御するためのセクションです。

- ①「電源」入／切
- ②"AVミュート" 入／切
消音とブラックスクリーンの機能が同時に実行されます。
- ③"ブラックスクリーン" 入／切
- ④"消音" 入／切

【注意】

すべての液晶プロジェクターの電源を一度に入れると、設備の電源容量を超える場合があります。これを防止するために、このソフトウェアはプロジェクターに1台ずつ電源を入れていくように設定できる機能を備えています。

- 1 「コントロールオプション(C)」メニューから、「環境設定(C)」を選びます。
- 2 すべての液晶プロジェクターの電源を一度に入れたい場合には「同時オン」を、1台ずつ順番に電源を入れたい場合には「順次オン」を選びます。
- 3 「OK」をクリックします。

グループプロジェクター：プロジェクターのグループを一度に1グループずつ操作します。このボックス内の調整内容は、選択したグループ内のすべてのプロジェクターに反映されます。

⑤「電源」入／切

⑥"入力切替" RGB 1～3またはビデオ1～3

⑦"音量"

グループの中でID番号の最も小さいプロジェクターの音量が表示されます。

⑧"AVミュート" 入／切

⑨"ブラックスクリーン" 入／切

⑩"消音" 入／切

⑪グループリスト：

接続されたすべてのグループのリストを表示します。

⑫•個別に表示を最新情報に更新します。

•すべての表示を最新情報に更新します。

⑬そのグループまたは個別プロジェクターの詳細設定にジャンプします。(詳細設定については、[66ページ](#)をご覧ください。)

全プロジェクターリスト：識別可能なすべての接続済みプロジェクターのリストです。

⑭プロジェクターリスト：

識別可能なすべての接続済みプロジェクターのリストを表示します。

⑮•個別に表示を最新情報に更新します。

•すべての表示を最新情報に更新します。

⑯そのグループまたは個別プロジェクターの詳細設定にジャンプします。(詳細設定については、[66ページ](#)をご覧ください。)

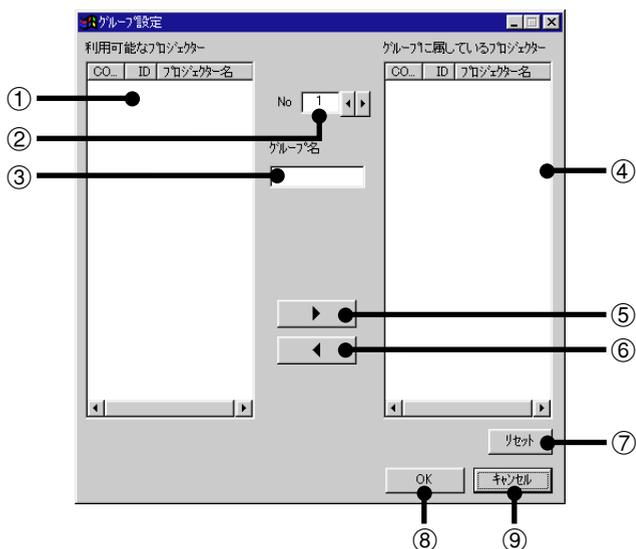
【メモ】

プロジェクターの種類によっては表示されない項目もあります。

グループ設定

グループに属さない個別プロジェクターをグループに追加したり、グループに属するプロジェクターをグループから削除したりすることができます。

- 1 「コントロールオプション(C)」メニューから「グループ設定(G)」を選びます。
「グループ設定」ウィンドウが開きます。



- ① 接続されたプロジェクターのリスト
- ② 「No」選択
- ③ 「グループ名」入力欄
- ④ グループに属するプロジェクターのリスト
- ⑤  接続されたプロジェクターのリストから選択したプロジェクターをグループに追加します。
- ⑥  グループに属するプロジェクターのリストから選択したプロジェクターをグループから削除します。
- ⑦ 選択したグループに属するすべてのプロジェクターのクリア
- ⑧ 設定を適用します。
- ⑨ 設定を取り消します。

- 2 「No」と「グループ名」ボックスで登録するグループを選びます。
- 3 接続されたプロジェクターのリストからプロジェクターを選びます。
- 4 ウィンドウ中央の  をクリックします。
選択したプロジェクターが、グループに属するプロジェクターのリストに表示されます。
- 5 「OK」をクリックします。
メモ
1台のプロジェクターは一度に1グループに割り当てることができません。

グループに属するプロジェクターをグループから削除するには

- 1 「コントロールオプション(C)」メニューから「グループ設定(G)」を選びます。
「グループ設定」ウィンドウが開きます。
- 2 「No」ボックス右の  をクリックして「No」を選びます。
- 3 グループに属するプロジェクターのリストからプロジェクターを選びます。
- 4 ウィンドウ中央の  をクリックします。
選択したプロジェクターが、グループに属するプロジェクターのリストから削除されます。
メモ
グループに属するすべてのプロジェクターを削除するには、手順2でグループ番号を選んでから、「リセット」をクリックします。

グループに属するすべてのプロジェクターをクリアするには

- 1** 「コントロールオプション(C)」メニューから「グループ設定(G)」を選びます。
「グループ設定」ウィンドウが開きます。
- 2** 「No」ボックス右の  をクリックして「No」を選びます。
- 3** 「リセット」をクリックします。
- 4** 「グループ名」ボックスに表示されるグループ名を削除します。
- 5** 「OK」をクリックします。

パソコン側の赤外線通信(IrCOM)を設定する

液晶プロジェクターXV-N1500をお使いの場合、画像を赤外線通信(IrCOM)で送信することができます。赤外線通信を行うには、次の手順でパソコン側の赤外線通信ポートを設定してください。

メモ

Windows NTをお使いの場合は、赤外線通信(IrCOM)は利用できません。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定(S)」から「コントロールパネル(C)」を選びます。

「コントロールパネル」が開きます。



2 「赤外線モニター」アイコンをダブルクリックします。



赤外線モニター

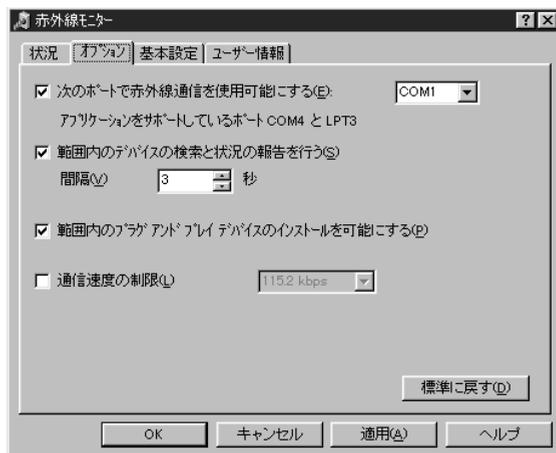
「赤外線モニター」ウインドウが開きます。

メモ

Windows95をご使用の場合

「赤外線モニター」アイコンが「コントロールパネル」に表示されない場合は、お使いのパソコンにMicrosoft社製Windows95用赤外線通信ドライバVer2.0日本語版がインストールされていません。ドライバはMicrosoft社のインターネット・サイト([5ページ](#))からダウンロードできます。

- 3 「オプション」タブをクリックします。
「オプション」シートが表示されます。

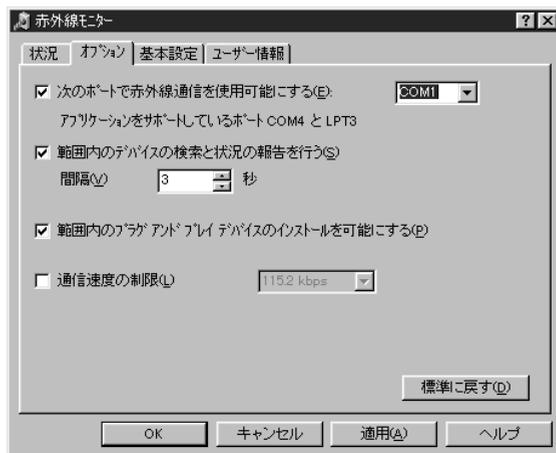


- 4 「標準に戻す(D)」をクリックします。
標準の設定に戻ります。

- 5 「次のポートで赤外線通信を使用可能にする(E)」の欄で、赤外線デバイスが接続されているポート設定を選びます。

メモ

該当するポート設定については、パソコンの取扱説明書を参照してください。

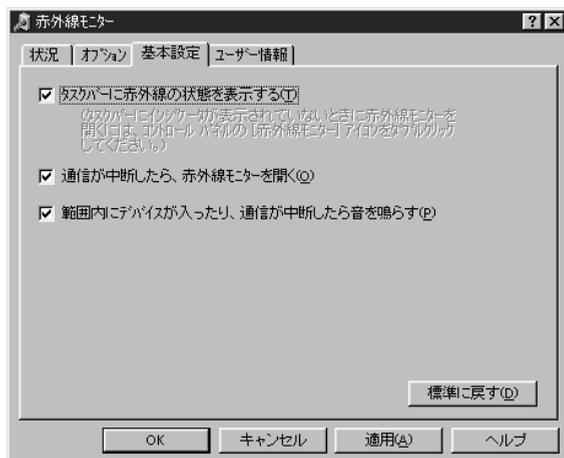


- 6 「範囲内のプラグアンドプレイデバイスのインストールを可能にする (P)」のチェックボックスにチェックを入れます。

注意

「範囲内のデバイスの検索と状況の報告を行う (S)」と、「通信速度の制限 (L)」のチェックボックスはチェックを入れないでください。

- 7 「基本設定」タブをクリックします。
「基本設定」シートが表示されます。



- 8 「標準に戻す (D)」をクリックします。
標準の設定に戻ります。

- 9 「OK」をクリックします。
「赤外線モニター」ウィンドウが閉じ、タスクトレイに「赤外線モニター」アイコンが表示されます。



赤外線モニターアイコン

メモ

「赤外線モニター」アイコンについて

 使用可能；赤外線通信できます。

 使用不可；赤外線通信できません。

オープニング画面としてカスタム画像を保存する

シャープ液晶プロジェクターは、立ち上げた直後や、何も信号が送られていないときに、あらかじめ指定した画像(カスタム画像)を映し出すことができます。(前者をオープニング画面、後者を無信号時画面といいます。)

画像の種類は液晶プロジェクターのモードメニューから選んでください。オープニング画面と無信号時画面の設定方法については、液晶プロジェクターの取扱説明書を参照してください。

ここでは、「カスタム画像」を液晶プロジェクターに送信し、保存する方法を説明します。

メモ

- オープニング画面や無信号時画面として使用できるカスタム画像について、次の制限があります。
 1. 1280×1024あるいはそれ以下のサイズの画像のみ使用できません。
 2. 256色BMP形式の画像で、240色以上の色パレットを使用しているときは、プロジェクターの色数制限に合うように自動的に変換されます。
 3. 24ビット(True Color)BMP形式の画像は、256色BMP形式に変換されます。
- カスタム画像を選ぶ際は、「プレゼンテーション送信」か「画像送信」にします。

「プレゼンテーション送信」ウィンドウ、または「画像送信」ウィンドウの「送信モード」で「カスタム画像送信」を選びます。

画像の送信方法については、「[画像を送信する](#)」(38ページ)をご覧ください。

メモ

カスタム画像として保存できる画像は1画像ファイルのみで、新たにカスタム画像を送信すると前の画像は上書きされます。一度送信したカスタム画像を消去しないためには、カスタム画像送信後、送信モードを「画像送信」に戻します。なお、カスタム画像は、オープニング画面・無信号時画面共用となります。

画像を送信する

プレゼンテーション送信

BMP形式あるいはJPEG形式の画像ファイルを液晶プロジェクターに送信します。指定したフォルダにある画像のサムネイル(縮小画像)が一覧表示されます。

メモ

- 液晶プロジェクターXG-V10Wは、JPEG形式の画像の送信には対応していません。
- 本機能は、「[プロジェクター1台操作](#)」モードの場合のみ作動します。
- 液晶プロジェクターXV-N1500をお使いの場合は、赤外線通信による画像送信も可能です。

プレゼンテーションの前に

- BMP形式でスライドを保存します。1280×1024か、それ以下の画像サイズにしてください。

- 1 「モード(M)」メニューの「プレゼンテーション送信(P)」を選びます。「プレゼンテーション送信」ウィンドウが開きます。



メニューバーの下にある  ボタンを押しても「プレゼンテーション送信」ウィンドウを開くことができます。(詳しくは「[SAPSプロを起動する](#)」14ページを参照してください。)

- ① 指定されたフォルダ内にある画像(手順3)
- ② 指定された画像の情報
- ③ 「送信モード」の種類(手順4)
- ④ プレゼンテーションの方法
- ⑤ 「[スライドショー](#)」送信を開始するためのボタン(40ページ)
- ⑥ 「[送信](#)」を実行する(41ページ)

- 2 「ファイル(F)」メニューから「開く(O)」を選びます。
「フォルダの参照」ウィンドウが開きます。



- 3 希望する画像ファイル(プレゼンテーション・スライド)が保存されているフォルダを指定したあと、「OK」をクリックします。
指定されたフォルダ内の画像は、「プレゼンテーション送信」ウィンドウにサムネイル(縮小画像)表示されます。



メモ

サムネイル表示は、画像サイズによって、画像以外の部分は黒いスペースとなりますが、画像は本来の解像度で送信されます。

- 4 「送信モード」で「画像送信」を選びます。

メモ

「[カスタム画像送信](#)」については、37ページをご覧ください。

- 5** プロジェクター側で、画面が自動的にカスタムモードに設定されます。前の表示画面(入力1～入力6)に戻すときは、入力切替ボタンを押します。

メモ

- 液晶プロジェクターXV-N1500に赤外線通信で画像を送信する場合、液晶プロジェクターまたはリモコンの「IrCOM」ボタンを押して、プロジェクターを赤外線通信モードに設定してください。
- 「スライドショー」送信を行うには、「[すべての画像を自動的に送る\(「スライドショー」\)](#)」をご覧ください。

すべての画像を自動的に送る(「スライドショー」)

- 1** 「プレゼンテーション送信」ウィンドウの「スライドショー」でプレゼンテーションの方法を選びます。

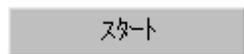
「繰り返し」を選ぶと、指定したフォルダに入っているすべての画像をエンドレスで送信し続けます。

「1回」を選ぶと、指定したフォルダに入っているすべての画像を一回送信します。

- 2** 「プレゼンテーション送信」ウィンドウの「スライドショー」で「スライドの間隔」を選びます。

30秒から5分まで15秒単位で時間を選ぶことができます。

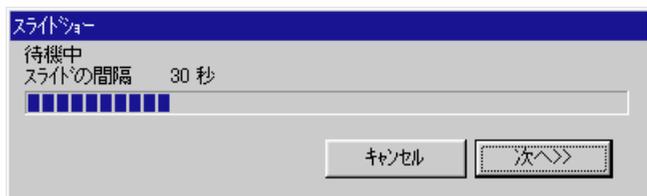
- 3** [39ページの手順4](#)のあと、「プレゼンテーション送信」ウィンドウの「スライドショー」の欄で「スタート」ボタンを押します。



「送信ファイルの情報」ダイアログが開き、送信を開始します。途中でその画像の送信をやめたい場合は、「キャンセル」をクリックします。



送信が完了すると、「スライドショー」ダイアログが開きます。間隔をあけるのを止めて、すぐに次の画像を送信する場合は、「次へ>>」をクリックします。



スライドショーを途中でやめるには、「キャンセル」をクリックします。

画像を一枚ずつ送信する(「画像送信」)

- 1 「プレゼンテーション送信」ウィンドウ内で送信したい画像をクリックします。



圧縮率を変更する場合は、「[圧縮率を変更する](#)」(20ページ参照)を参照してください。

メモ

- 設定されている圧縮率は指定されたすべてのフォルダに適用されません。
- 圧縮率を変更すると、画質や送信速度も変化します。

- 2 「画像送信」ボックスの「選択画像送信」ボタンをクリックします。



「送信ファイルの情報」ダイアログが開き、送信を開始します。途中でその画像の送信をやめたい場合は、「キャンセル」をクリックします。



- 次の画像を送るには、「画像送信」ボックスの「次へ >」ボタンをクリックします。



- 前の画像を送るには、「画像送信」ボックスの「< 戻る」ボタンをクリックします。
- 標準インストールの状態では、ファイル名の順に並んでいます。順序を変更する場合はドラッグ&ドロップで画像を希望の位置に移動してください。

画像送信

現在パソコン画面に表示されている画像を送信します。

メモ

- 本機能は、「[プロジェクター1台操作](#)」モードの場合のみ作動します。
- 液晶プロジェクターXV-N1500をお使いの場合は、赤外線通信による画像送信が可能です。

プレゼンテーションの前に

- フルスクリーンサイズの画像は送信できません(例：Microsoft PowerPointの「スライドショー」モード)。画像キャプチャー・送信モードでフルスクリーンサイズのスライドを映し出すには、「[クイック送信](#)」(45ページ)を参照してください。

1 希望の画像をパソコン画面に表示します。

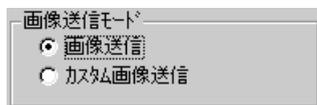
2 「モード(M)」メニューから「画像送信(C)」を選びます。
「画像送信」ウィンドウが開きます。



「送信モード」の種類
(手順3)

メニューバーの下にある  ボタンを押しても「画像送信」ウィンドウを開くことができます。(詳しくは「[SAPSプロを起動する](#)」14ページをご覧ください。)

3 「画像送信モード」で「画像送信」を選びます。



圧縮率を変更する場合は、「[圧縮率を変更する](#)」(20ページ参照)を参照してください。

メモ

- 「[カスタム画像送信](#)」の詳細については、37ページを参照してください。
- 圧縮率を変更すると、画質や送信速度が変化します。

プロジェクター側で、画面が自動的にカスタムモードに設定されます。

4 「画像送信」ウィンドウの「画像送信」ボタンをクリックします。



- 「画像送信」ウィンドウを閉じ、画面のキャプチャーを開始します。
- キャプチャーが完了すると、再び「画像送信」ウィンドウが開き、送信を開始します。
- 「送信ファイルの情報」ダイアログが開きます。途中で送信を止めたい場合は、「キャンセル」をクリックします。

別の画像を送信する

パソコン画面にあらためて表示し、手順4から操作します。

クイック送信

固定の圧縮率を使用するため、簡単な手順で送信できます。

メモ

液晶プロジェクターXG-V10Wをお使いの場合は、クイック送信機能は使用できません。

このモードによる送信は以下の設定で行われます。

- 普通の画質
- 中間速度

このモードで、オープニング画面や無信号時画面のカスタム画像を送信することはできません。

プレゼンテーションの前に

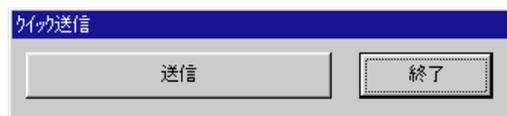
- [自動起動設定](#)が「入」になっている(19ページ参照)か、SAPSプロがすでに立ち上がっていることを確認してください。
- フルスクリーンサイズの画像も送信できます(例：Microsoft PowerPointの「スライドショー」モード)。

1 送信したい画像をパソコン画面に表示します。

2 マウスの右ボタンを「クイック送信」ウィンドウが開くまで押し続けます。

ポインタはパソコン画面上のどの位置にあっても構いません。

「クイック送信」ウィンドウが開きます。



プロジェクター側で、画面が自動的にカスタムモードに設定されます。

メモ

液晶プロジェクターXV-N1500に赤外線通信で画像を送信する場合、液晶プロジェクターまたはリモコンの「IrCOM」ボタンを押して、プロジェクターを赤外線通信モードに設定してください。

3 「クイック送信」ウィンドウの「送信」ボタンをクリックします。

画面のキャプチャーを開始します。

「送信ファイルの情報」ダイアログが開き、送信を開始します。途中で送信を止めたい場合は、「キャンセル」をクリックします。

送信が完了すると、「送信ファイルの情報」ダイアログが閉じます。

4 「クイック送信」ウィンドウの「終了」ボタンをクリックします。

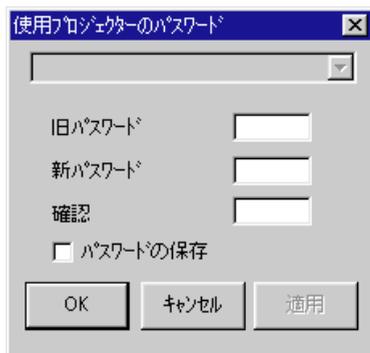
別の画像を送信する

パソコン画面にあらためて表示し、手順2から操作します。

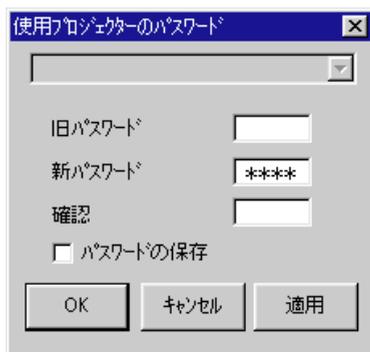
パスワード

パスワードを設定する

- 1 「コントロールオプション(C)」メニューから、「パスワード(P)」を選びます。
「使用プロジェクターのパスワード」ダイアログボックスが開きます。



- 2 キーボードから、「使用プロジェクターのパスワード」ダイアログボックスの「新パスワード」に数字 4 文字でパスワードを入力します。
「プロジェクター複数台操作」モードに設定している場合は、「ID番号」または「COMポート番号」を選択してから本操作を行います。



- 3 キーボードから、「使用プロジェクターのパスワード」ダイアログボックスの「確認」にもう一度同じパスワードを入力します。
パスワードを記憶させるには、「パスワードの保存」チェックボックスにチェックを入れます。

4 「OK」をクリックします。

メモ

パスワード設定後、メモをとって安全な場所に保管して、パスワードを失わないようにしてください。

パスワードを変更する

- 1 「コントロールオプション(C)」メニューから、「パスワード(P)」を選びます。
- 2 キーボードから、「使用プロジェクターのパスワード」ダイアログボックスの「旧パスワード」にこれまでのパスワードを入力します。
「[プロジェクター複数台操作](#)」モードに設定している場合は、「ID番号」または「COMポート番号」を選択してから本操作を行います。



3 キーボードから、「使用プロジェクターのパスワード」ダイアログボックスの「新パスワード」および「確認」に数字4文字の新しいパスワードを入力します。

パスワードを記憶させるには、「パスワードの保存」チェックボックスにチェックを入れます。



4 「OK」をクリックします。

メモ

「新パスワード」および「確認」に何も入力しないまま「OK」をクリックすると、旧パスワードが消去されてパスワード設定なしの状態になります。

キーロックのレベルを選択する

プロジェクター本体上面のボタンを働かないようにロックさせることができます。

リモコンのボタンはロックされません。

- 1** 「コントロールオプション(C)」メニューから、「キーロックレベル(K)」を選びます。

「キーロックレベル」ウィンドウが表示されます。



- 2** キーロックのレベルを「ノーマル」「レベルA」「レベルB」から選びます。

「[プロジェクター複数台操作](#)」モードに設定している場合は、「ID番号」または「COMポート番号」を選択してから本操作を行います。キーロックの各レベルについては、下の表をご覧ください。

- 3** 「OK」をクリックします。

キーロックレベルについて

レベル	説明
ノーマル	すべてのボタンが機能します。
レベルA	次のボタンのみが機能します。 プロジェクターの入力切換、音量、消音、 ブラックスクリーン
レベルB	プロジェクターのすべてのボタンがロックされます。

- キーロックを設定しても、リモコンまたはSAPSプロ(本ソフトウェア)上の操作はロックされません。
- パスワードが設定されている場合は、パスワードを正しく入力しないとキーロックレベル選択は利用できません。

プロジェクターに名前をつける

ID番号を使用して複数台の液晶プロジェクターを接続している場合には、各プロジェクターに名前をつけることができます。名前は、パスワード保護なしの「プロジェクター名」、パスワード保護付きの「管理名」のいずれかを選ぶことができます。

1 「コントロールオプション(C)」メニューから「プロジェクター名と管理名(P)」を選びます。

「プロジェクター名と管理名」ウィンドウが開きます。



① ID番号、COMポート番号を選びます。

② プロジェクター名を入力します。

入力できるプロジェクター名の長さは英数半角文字で12文字以内です。

すでにプロジェクター名が設定されている場合は、その名前が表示されます。

③ 管理名を入力します。

入力できる管理名の長さは英数半角文字で12文字以内です。

すでに管理名が設定されている場合は、その名前が表示されます。

2 ▼をクリックして、名前をつけるプロジェクターのID番号を選びます。

3 「プロジェクター名」または「管理名」に新しい名前を入力します。

メモ

- 「プロジェクター名」をつけておけば、複数台のプロジェクターを操作する際に、操作する個別のプロジェクターを容易に指定することができます。機種名や設置場所などをプロジェクター名とするとよいでしょう。
- 「管理名」をつけても液晶プロジェクターの操作には何ら変わりありません。管理名はパスワード(47ページ)で保護され、パスワードが正しく入力されないと変更できません。プロジェクターの所有者名などを管理名とするとよいでしょう。

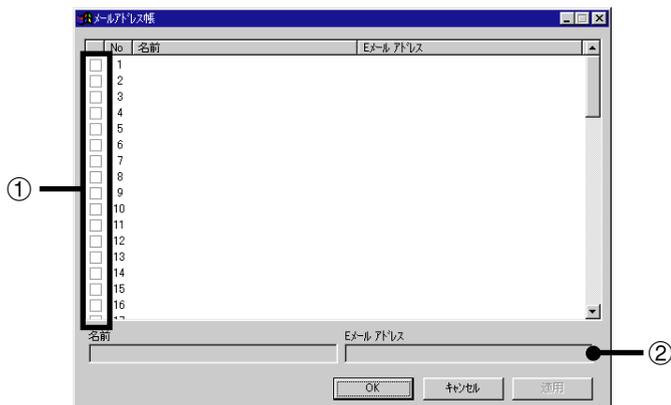
Eメールで液晶プロジェクターのエラーを知らせる

パソコン側であらかじめEメールを送ることができるように設定(LAN接続、ダイヤルアップ接続など)してあれば、液晶プロジェクターにエラーが発生したとき、登録しておいたアドレスにメールでエラー発生を知らせるようにすることができます。

メールの送付先を登録する

- 1 「コントロールオプション(C)」メニューから「メールアドレス帳(E)」を選びます。

「メールアドレス帳」ウィンドウが開きます。



- ① チェックボックスにチェックが入っていない場合、右の欄に入力したアドレスには送信されません。

- ② メールを送付先のアドレスを入力します。

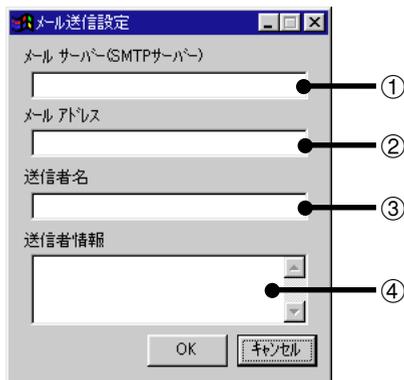
- 2 送付先のメールアドレスを入力します。

- 3 「送信する／しない」チェックボックスにチェックを入れます。

メール送信の条件を設定する

- 1 「コントロールオプション(C)」メニューから「メール送信設定(S)」を選びます。

「メール送信設定」ウィンドウが開きます。



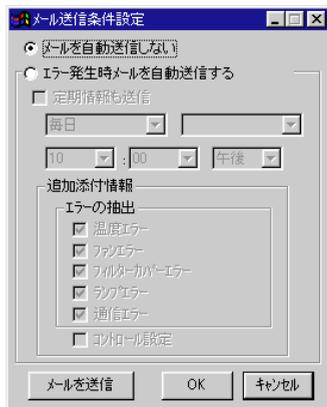
- ① 送信元のメールサーバー (SMTPサーバー) のアドレスを入力します。
- ② 送信元のメールアドレスを入力します。
- ③ 送信者の名前を入力します。
- ④ 送信者についての情報を入力します。

- 2 各項目を入力します。
- 3 「OK」ボタンをクリックします。

メール送付先の設定をする

- 1 「コントロールオプション(C)」メニューから「メール送信条件設定(S)」を選びます。

「メール送信条件設定」ウィンドウが開きます。



2 各設定を行います。

- 自動メール送付を行わないようにするには、「メールを自動送信しない」を選びます。
- 自動メール送付を行うようにするには、「エラー発生時メールを自動送信する」を選びます。

【メモ】

手順2で「定期情報も送信」チェックボックスにチェックを入れた場合には、エラーが発生していなくても定期的にプロジェクターの状態データがメールで送付されます。

メール送付のタイミング

- 「毎日」、「毎週」、「隔週」、「毎月」の中から、メール送付のタイミングを選びます。
 - 「毎日」を選んだ場合、プロジェクターの状態データが設定した時間にメール送付されます。
 - 「毎週」または「隔週」を選んだ場合は、メールを送付する曜日を指定してください。
 - 「毎月」を選んだ場合は、メール送付日(メールを毎月何日に送付するか)を指定してください。

「追加添付情報」ボックス

項目名の左のチェックボックスにチェックを入れると、送信されるメールでその項目の状態が通知されます。

温度エラー：内部温度が適正範囲内かどうかを知らせます。

ファンエラー：冷却ファンに異常がないかどうかを知らせます。

フィルターカバーエラー：フィルターカバーに異常がないかどうかを知らせます。

ランプエラー：ランプの使用時間を知らせます。

通信エラー：プロジェクターとパソコンの間の通信に異常がないかどうかを知らせます。

コントロール設定：「コントラスト」「入力切替」などのプロジェクター側のユーザー設定の設定内容を知らせます。(ユーザー設定の設定内容は「[液晶プロジェクターのRS-232C設定をパソコンに保存する](#)」(75ページ)で保存される設定内容と同じです)

エラー履歴一覧について

SAPSプロは、液晶プロジェクターに発生したエラー情報を、パソコン画面上に表示することがあります。

- 1 「コントロールオプション(C)」メニューから「エラー履歴一覧(E)」を選びます。

「エラー履歴一覧」ウィンドウが開きます。



「消去」を押すと、選択されているエラー内容を消去することができます。

メモ

「[メール送信の条件を設定する](#)」(55ページ)でメールアドレスを登録しておけば、エラー発生時または定期的にプロジェクター情報がメールで送られます。

液晶プロジェクターの電源をタイマーで「切」にする

設定した時刻に自動的にプロジェクターの電源を「切」にすることができます。

メモ

- タイマーは、SAPSプロが起動していないと作動しません。
- タイマーは、パソコンの内蔵時計の時刻に基づいて作動します。時刻どおりに作動させるには、パソコンの内蔵時計の時刻を正しく調整してください。

1 「コントロールオプション(C)」メニューから「プロジェクター タイマー コントロール(P)」を選びます。

「プロジェクター タイマー コントロール」ウィンドウが開きます。



- ① プロジェクターを選びます。
- ② タイマー機能を使用するときは、チェックボックスにチェックを入れます。
- ③ 電源を「切」にする時刻を設定します。

2 自動的に電源を「切」にするプロジェクターを選びます。

複数台の選択が可能です

3 「OFF時刻設定」をクリックします。

電源を「切」にする時刻を設定します。

4 タイマー機能を使用するときは、「使用する」チェックボックスにチェックを入れます。

5 「OK」をクリックします。

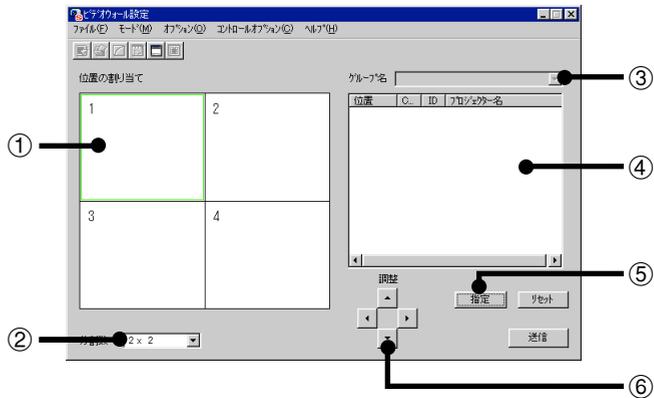
ビデオウォールの設定

本ソフトウェアを使えば、接続されたプロジェクターの画像を2×2から最大8×8にまで分割して、ビデオウォールを作ることができます。

メモ

この機能は、UXGA信号が表示されているときには利用できません。

- 1 「モード(M)」メニューから「ビデオウォール設定(V)」をクリックします。「ビデオウォール設定」ウィンドウが開きます。



メニューバーの下にある  ボタンを押しても「ビデオウォール設定」ウィンドウを開くことができます。(詳しくは「[SAPSプロを起動する](#)」14ページを参照してください。)

- ① 選択したプロジェクターに割り当てられる領域
- ② 「分割数」を2×2、3×3、4×4、5×5、6×6、7×7、8×8、4×3(ワイドスクリーン)または8×6(ワイドスクリーン)から選びます。
- ③ 「グループ名」を選びます。
- ④ プロジェクター選択領域
- ⑤ プロジェクターを割り当てます。
- ⑥ 調整：割り当てられたプロジェクターの位置は、、、、 をクリックすることによって、水平(H)および垂直(V)方向に調整できます。

2 「グループ名」を選びます。

3 「分割数」を選びます。

4 「位置の割り当て」で割り当てる位置を選びます。

メモ

ここで割り当てる位置とプロジェクターの実際の位置との関係については、次ページの「[ビデオウォール設定によるプロジェクター画像の割り当て](#)」を参照してください。

5 ④でプロジェクターを選びます。

6 「指定」をクリックします。

プロジェクターがビデオウォールの構成部分として割り当てられます。

水平および垂直位置を微調整するには、「調整」のところにある 、、、 をクリックします。

現在の割り当て設定をリセットするには

グループを選択した後で「リセット」をクリックします。

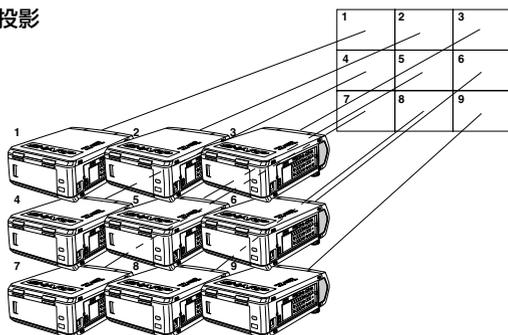
メモ

ビデオウォールを形成するプロジェクターは、いずれかのグループに属している必要があります。グループに属さないプロジェクターを割り当てるには、そのプロジェクターをどれかのグループに追加します。(31ページを参照してください。)

ビデオウォール設定によるプロジェクター画像の割り当て

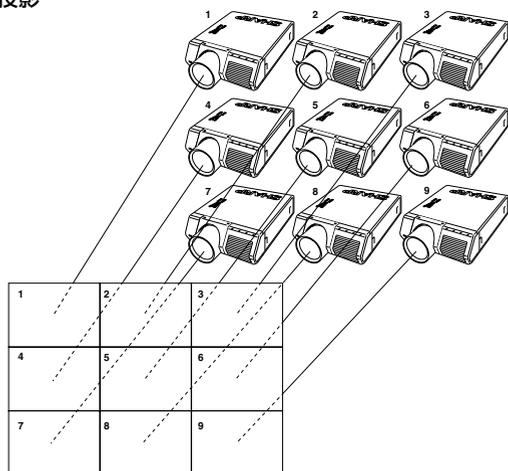
前方投影時と後方投影時のプロジェクター画面の割り当ては、下に示すとおりです。

前方投影



1～9がスクリーン上の位置番号に対応します。

後方投影



1～9がスクリーン上の位置番号に対応します。

画像を調整する

ガンマ補正

スクリーンに映し出された画像のR、G、B各色の明るさを調整するには、ガンマ値を補正します。

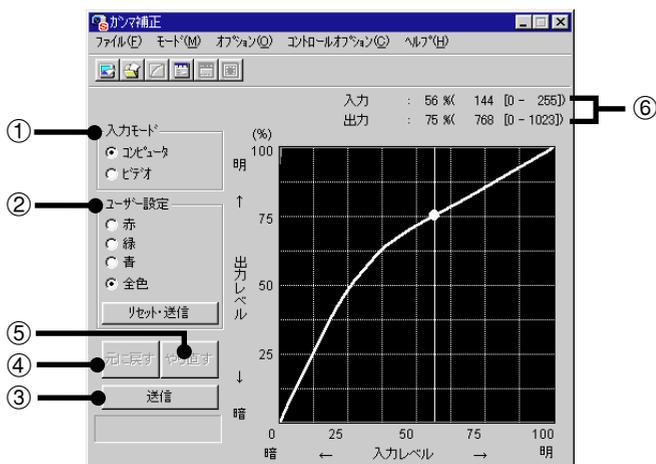
メモ

本機能は、「[プロジェクター1台操作](#)」モードの場合のみ作動します。

調整の前に

- 液晶プロジェクターのガンマボタンを押し、液晶プロジェクターをユーザー設定モードにします。
- 本機能は赤外線通信(IrCOM)に対応していません。RS-232CケーブルまたはLANケーブルで[液晶プロジェクターとパソコンを接続](#)(6ページ)してから、ガンマ補正を始めてください。

- 1 「モード(M)」メニューから「ガンマ補正(G)」を選びます。
「ガンマ補正」ウィンドウが開きます。



メニューバーの下にある  ボタンを押しても「ガンマ補正」ウィンドウを開くことができます。(詳しくは「[SAPSプロを起動する](#)」14ページを参照してください。)

①「入力モード」からガンマ補正したい入力を選択します。「コンピュータ」と「ビデオ」の画像のガンマは別々に設定されています。お買い上げ時は「コンピュータ」に設定されています。

②「全色」以外の色についてそれぞれガンマ値を調整します。「全色」を調整すると、ほかの色のガンマ値が相殺されます。

メモ

調整した値を標準インストール時の設定値に戻すには、色ごとに「リセット・送信」ボタンを押します。たとえば赤と緑の値に戻すには、「赤」モードで「リセット・送信」ボタンを押してまず赤の値を戻し、「緑」モードにして同様の操作をします。赤、緑、青すべての色に戻すには、「全色」モードで「リセット・送信」ボタンを押します。

③「送信」をクリックすればすべての設定データを液晶プロジェクターに送ります。

④ガンマ値を補正操作前の状態に戻します。

⑤④による復元をキャンセルし、④をクリックする前の状態に戻します。

⑥ガンマ座標表示(入力/出力)

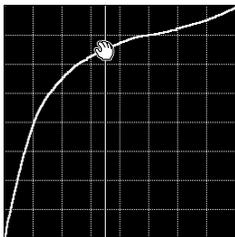
2 「入力モード」を選びます。

3 「ユーザー設定」で、色別に値を設定します。
グラフの曲線をドラッグ&ドロップで調整します。

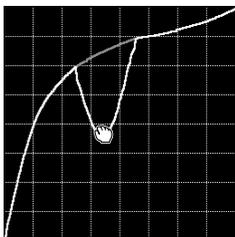
4 「送信」をクリックします。
設定データの送信中に「送信中...」メッセージが表示されます。

ガンマ曲線を調整する

- 1 「ガンマ補正」の手順1～4を行います。
- 2 マウスポインターをガンマ曲線上に置きます。
マウスポインターが手の形になります。



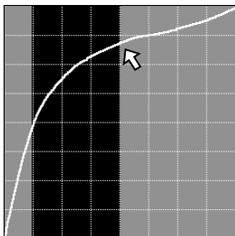
- 3 ガンマ曲線をドラッグします。
マウスポインターが手を握った形になり、曲線が変形します。
キーボードの「↑」「↓」キーからも同じ操作を行うことができます。



ガンマ補正範囲を指定する

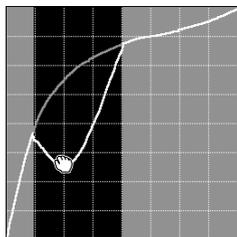
ガンマ補正範囲は、ドラッグ&ドロップで指定することができます。ガンマ曲線とマウスポインターは指定された範囲内でのみ動きます。キーボードで「Shift」キーを押しながら「←」「→」キーを押しても、ガンマ補正範囲指定ができます。

- 1 マウスポインターをドラッグし、それからドロップします。
ドロップしたところが、ガンマ補正範囲となります。



2 ガンマ曲線をドラッグ&ドロップします。

ガンマ曲線およびマウスポインターは指定された範囲内で動きます。



メモ

- 補正操作後、ガンマ値を補正前の状態に戻すときは、「元に戻す」ボタンをクリックします。
- 「元に戻す」ボタンを押す前の状態に戻すには、「やり直す」ボタンをクリックします。

ガンマ補正データを保存する

- 1 「ファイル(F)」メニューから、「ガンマ補正データセーブ」を選びます。
「名前を付けて保存」ダイアログボックスが開きます。
- 2 「ファイル名(N)」を指定します。
- 3 「保存する場所(I)」を指定します。
- 4 「保存(S)」ボタンをクリックします。
その時点でプロジェクターに設定されているガンマ補正が保存されます。

ガンマ補正データを読み込む

- 1 「ファイル(F)」メニューから、「ガンマ補正データロード」を選びます。
「開く」ダイアログボックスが開きます。
- 2 「ファイルの場所(I)」を指定します。
- 3 「ファイル名(N)」を指定します。
- 4 「ファイルの種類(T)」を指定します。
- 5 「開く(O)」ボタンをクリックします。
ガンマ値がプロジェクターに読み込まれます。

パソコンで液晶プロジェクターの設定をする

RS-232C コントロール

以下の液晶プロジェクター調整項目については、接続されたパソコンから変更や設定が可能です。各々の調整内容についての詳細は液晶プロジェクターの取扱説明書を参照してください。各タブごとのシート内調整項目は、次の通りです。

タブ	シート内調整項目	ページ
セットアップ	電源	69
	入力切換	
	入力1/2/3 ガンマ選択	
	入力4/5/6 ガンマ選択	
	ブラックスクリーン	
	静止画	
	自動同期調整	
	フォーカス	
	ズーム	
	レンズシフト	
	キーストーン補正	
	デジタルシフト補正	
入力1調整 ↳ 入力6調整	入力（1～6）映像調整	70
	入力（1/2/4/5）信号タイプ選択	
	入力（1～6）画面サイズ	
	入力（1～6）プログレッシブモード	
同期調整	入力調整	71
	ユーザーメモリー設定	
	自動同期調整	
	自動同期調整表示	
	スペシャルモード	
音声調整	音声調整	72
	音量	
	消音	
オプション	3次元DNR	73
	無信号時自動電源オフ機能	
	OSD 表示	
	映像信号方式	
	無信号時画面	
	オープニング画面	
	ID No.表示	
	ランプモード	
	投影方式	
入力設定		

メモ

- 液晶プロジェクターのメニューで設定した内容と違っていても、RS-232Cコントロール機能で調整できます。
- プレゼンテーション送信、画像送信、ガンマ補正画面からRS-232Cコントロール調整画面に切り替えた場合、SAPSプロは自動的に液晶プロジェクター側での設定を確認し、RS-232Cコントロール調整画面に初期設定(デフォルト)値として表示します。
- 別の調整を行うために、RS-232Cコントロール調整画面のあるシートから他のシートへ切り替えた場合も、同様の確認が行われます。この場合、その後も一定間隔で確認が繰り返され、そのたびにRS-232Cコントロール調整画面にその設定が表示されます。
- 「オプション」シートで「無信号時自動電源オフ機能」の設定を「ON」に設定しても、RS-232Cコントロール操作中は働きません。無信号時自動電源オフ機能はプレゼンテーション送信、画像送信、ガンマ補正操作中に、一定時間操作がなければ動作します。

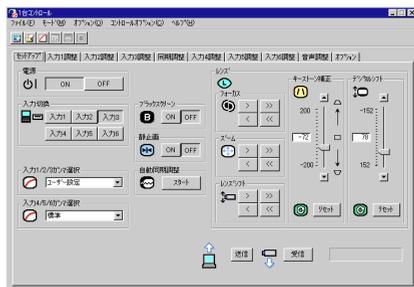
調整の前に

複数台コントロールでの設定データは、RS-232Cケーブルを通じて液晶プロジェクターに送られます。

RS-232Cケーブル(クロス)で[液晶プロジェクターとパソコンを接続](#)(6ページ参照)してから、パソコン側の通信ポートを指定し、RS-232Cコントロールの操作を始めてください。

▶ 複数台の液晶プロジェクターが接続されている場合

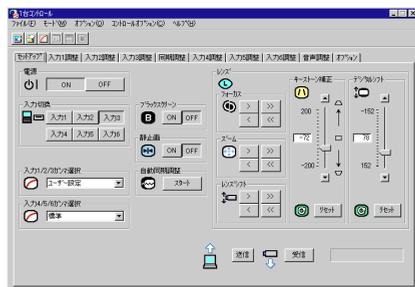
- 1 「複数台コントロール」ウィンドウで、グループまたは個別のプロジェクターを指定します。
- 2 「複数台コントロール」ウィンドウの「ジャンプ」ボタンをクリックします。



3 希望する調整項目のあるシートのタブをクリックします。

▶ 1台の液晶プロジェクターが接続されている場合

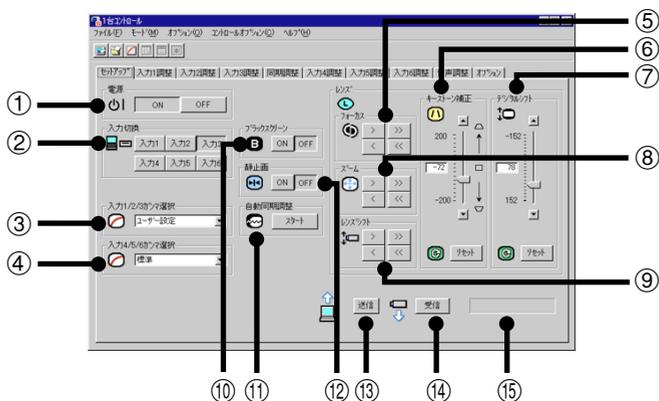
1 「モード(M)」メニューから「1台コントロール(S)」を選びます。
「1台コントロール」ウィンドウが開きます。



メニューバーの下にある  ボタンを押しても「1台コントロール」ウィンドウを開くことができます。(詳しくは「[SAPSプロを起動する](#)」14ページを参照してください。)

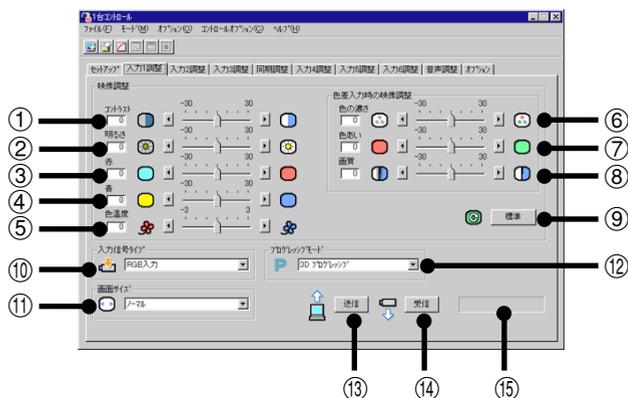
2 希望する調整項目のあるシートのタブをクリックします。
タブごとの調整は、次のページをご覧ください。

"セットアップ"



- ① "電源" ON/OFF
- ② "入力切替" 選択
- ③ "入力1/2/3ガンマ選択"
- ④ "入力4/5/6ガンマ選択"
- ⑤ "フォーカス" 調整
- ⑥ "キーストーン補正" 調整
コントローラーのバーを上下して調整するか、ボックスに希望の値を直接入力し、ENTERキーを押します。
- ⑦ "デジタルシフト補正" 調整
- ⑧ "ズーム" 調整
- ⑨ "レンズシフト" 調整
- ⑩ "ブラックスクリーン" ON/OFF
- ⑪ "自動同期調整"
「スタート」ボタンを押します。
- ⑫ "静止画" ON/OFF
- ⑬ 調整データをすべて液晶プロジェクターに送ります。
「送信」ボタンを押して、調整項目をすべて実行させます。
- ⑭ 液晶プロジェクター側のデータを受け取ります。
「受信」ボタンを押して、液晶プロジェクター側の設定を確認します。
- ⑮ 設定データの送信中に「送信中...」メッセージが表示されます。

"入力1調整"～"入力6調整"



①～⑧：各々コントローラーのバーを左右して調整するか、ボックスに希望の値を直接入力し、ENTERキーを押します。

①"コントラスト" 調整

②"明るさ" 調整

③"赤" 調整

④"青" 調整

⑤"色温度" 調整

※ ⑥"色の濃さ" 調整

※ ⑦"色あい" 調整

※ ⑧"画質" 調整

⑨ ①から⑧の設定値を標準インストールの状態に戻します。

「標準」ボタンを押します。

⑩「入力信号タイプ」 選択

⑪「画面サイズ」 選択

プルダウンメニューからサイズモードを選びます。縦横のドット比が変わり、スクリーン上の画像サイズが変更されます。

⑫「プログレッシブモード」 選択

⑬調整データをすべて液晶プロジェクターに送ります。

「送信」ボタンを押して、調整項目をすべて実行させます。

⑭液晶プロジェクター側のデータを受け取ります。

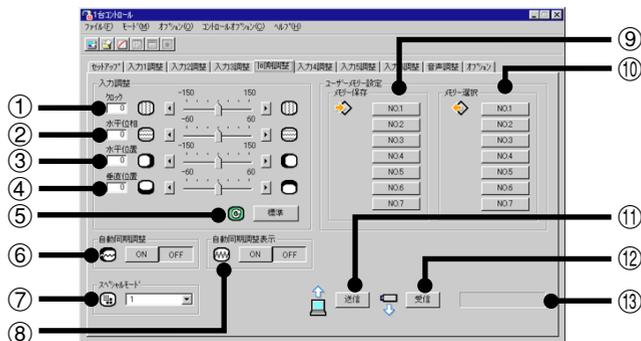
「受信」ボタンを押して、液晶プロジェクター側の設定を確認します。

⑮設定データの送信中に「送信中...」メッセージが表示されます。

メモ

※ 入力1映像／入力2映像関連で、「色の濃さ」、「色あい」、および「画質」は、コンポーネント入力信号だけの調整項目です（「画質」はDVD480i信号のみ対応）。

"同期調整"



①～④：各々コントローラーのバーを左右して調整するか、ボックスに希望の値を直接入力し、ENTERキーを押します。

- ①"クロック" 調整 ②"水平位相" 調整
- ③"水平位置" 調整 ④"垂直位置" 調整

⑤ ①から④の設定値を標準インストールの状態に戻します。

"標準" ボタンを押します。

⑥ "自動同期調整" ON/OFF

「ON」で、液晶プロジェクターの電源が入った場合や入力信号が変わった場合には常に自動同期調整機能を実行します。

⑦ 「スペシャルモード」 選択

⑧ "自動同期調整表示" ON/OFF

「ON」にすると、自動同期中は無信号時画面が表示されます。

⑨ 様々なコンピュータを使用する場合には、入力信号値を7つまで記憶させておくことができます。

液晶プロジェクターにパソコンを接続し、入力調整項目を設定します。次に「メモリーNO.」のいずれかを押し、設定値を保存します。

メモ

- 必要であれば、「メモリーNO.」とそこに保存した内容は別々に書き留めておいてください。いったん保存したあとは、本ソフトウェアでは内容の確認はできません。
- すでになんらかの設定が保存されている「メモリーNO.」ボタンに保存すると、前の設定内容に上書きされます。

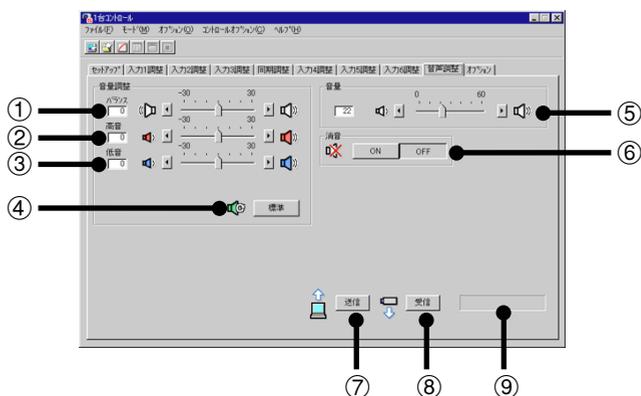
⑩ 「メモリー選択」ボタンを押し、現在接続されているパソコンにあった設定値を選びます。

⑪、⑫、⑬の機能については、それぞれ70ページの⑬、⑭、⑮をご参照ください。

メモ

入力3(DVI)モードでは、「同期調整」シートで「自動同期調整」と「スペシャルモード」以外の調整を行う必要はありません。(「入力調整」および「ユーザーメモリー設定」は利用できません。)

"音声調整"



①～③, ⑤ : 各々コントローラーのバーを左右して調整するか、ボックスに希望の値を直接入力し、ENTERキーを押します。

① "バランス" 調整

② "高音" 調整

③ "低音" 調整

④ ①から③の設定値を標準インストールの状態に戻します。

「標準」ボタンを押します。

⑤ "音量" 調整

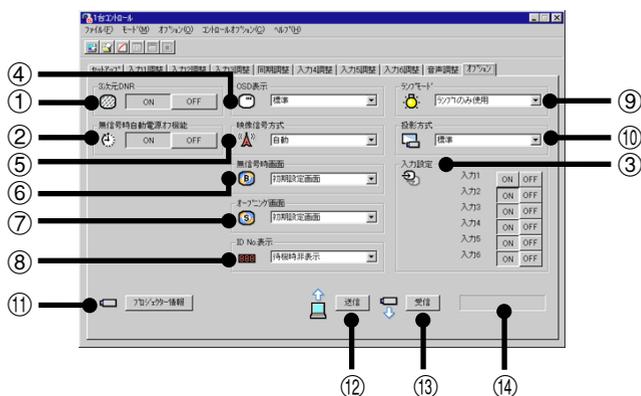
⑥ "消音" ON/OFF

⑦ 「送信」ボタンを押して、調整データをすべて液晶プロジェクターに送ります。

⑧ 「受信」ボタンを押して、液晶プロジェクター側のデータを受け取ります。液晶プロジェクター側の設定を確認します。

⑨ 設定データの送信中に「送信中...」メッセージが表示されます。

"オプション"



①～③：各々ON/OFFを選びます。

① "3次元DNR" ON/OFF

② "無信号時自動電源オフ機能" ON/OFF

「ON」に設定しても、RS-232Cコントロール操作中には動きません。プレゼンテーション送信、画像送信、ガンマ補正操作中に一定時間操作がなければ動作します。

③ "入力設定" ON/OFF

入力1から入力6まで個別に入・切を設定します。

④～⑩：各々プルダウンメニューからモードを選びます。

④ "OSD表示" 選択

⑤ "映像信号方式" 選択

⑥ "無信号時画面" 選択

⑦ "オープニング画面" 選択

⑧ "ID No.表示" 選択

⑨ "ランプモード" 選択

⑩ "投影方式" 選択

⑪ (次ページを参照してください。)

⑫ 調整データをすべて液晶プロジェクターに送ります。

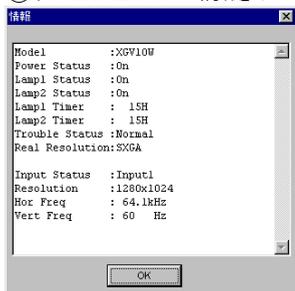
「送信」ボタンを押して、調整項目をすべて実行させます。

⑬ 液晶プロジェクター側のデータを受け取ります。

「受信」ボタンを押して、液晶プロジェクター側の設定を確認します。

⑭ 設定データの送信中に「送信中...」メッセージが表示されます。

①「プロジェクター情報」ボタンを押し、「情報」ウィンドウを開きます。



Model (機種名)

ご使用の液晶プロジェクターの種類(型番)です。

Power Status (電源状態)

- On (入) : 電源「入」
- Off (切) : 電源「切」
- Cooling (冷却中) : 電源は「切」ですが、冷却ファンが作動しています。「冷却中」は電源コードを抜かないでください。

Lamp Status (ランプ状態)

- On (入) : ランプ「点灯中」
- Off (切) : ランプ「消灯中」
- Retry (点灯指示中) : ランプ「点灯指示中」
- Wait (待機中) : ランプ「待機中」

Lamp Timer (ランプ使用時間)

ランプの使用時間の累積です。ランプ交換時にリセットされます。

Trouble Status (異常内容)

- Temp. (温度) : 内部の温度が異常に高温になっています。排気孔や吸気孔がふさがれていないか確認してください。
- Fan (ファン) : ファンカバーに異常があります。ファンカバーに何か挟まっていないか確認してください。ファンカバーが開いています。ファンカバーを確実に閉めてください。
- Lamp (ランプ) : ランプに問題が発生しています。
- Normal (正常) : 異常はありません。

Real Resolution (リアル解像度)

パネルの実際の解像度です。

Input Status (入力選択状態)

使用中の入力ポートです。(入力1～入力6)

Resolution (解像度)

入力1～入力3を使用の場合に表示します。スクリーン上の解像度です。

Hor Freq (水平周波数)

入力1～入力3を使用の場合に表示します。水平周波数です。

Vert Freq (垂直周波数)

入力1～入力3を使用の場合に表示します。垂直周波数です。

Video System (映像信号形式)

入力4・入力5を使用の場合に表示します。ビデオ入力システム(NTSC,PALなど)です。モノクロ画像や無信号状態の場合は「—」が表示されます。システム強制の場合はシステム名の前に「*」を表示します。

RS-232C設定の保存と読み込み

液晶プロジェクターのRS-232C設定をお使いのパソコンに保存したり、保存したRS-232C設定を液晶プロジェクターに送信することができます。設定を保存しておけば、何度も同じ操作を繰り返す必要がなくなり、便利です。

メモ

この機能は、「[プロジェクター設定](#)」(23ページ)で「XGNV1-5」を選んでいるときは使用できません。

液晶プロジェクターのRS-232C設定をパソコンに保存する

- 1 「ファイル(F)」メニューの「調整内容セーブ」を選びます。
「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

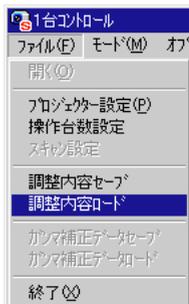


- 2 ファイル名を入力して「保存(S)」をクリックします。
液晶プロジェクターの設定が、パソコンに保存されます。



パソコンに保存した設定を液晶プロジェクターに送信する

- 1 「ファイル(F)」メニューの「調整内容ロード」を選びます。
「開く」ダイアログが表示されます。



- 2 送信したい設定ファイルを選び、「開く(O)」をクリックします。
RS-232C設定が、液晶プロジェクターに送信されます。



メモ

保存したときの液晶プロジェクターと同じ液晶プロジェクターにのみ、送信することができます。

ソフトウェアをアンインストールする

改めてSAPSプロをインストールするときや、アップグレードしたバージョンのSAPS(またはSAPSプロ)をインストールするときは、必ずこれまでのSAPS(またはSAPSプロ)をアンインストールします。

アンインストールの前に

- SAPS(またはSAPSプロ)が起動しているときは、アンインストールを始める前に終了してください。
- 自動起動の設定は以下の手順にしたがって、必ず“切”にしてください。
 - ① 「Sharp Advanced Presentation Software」(または「Sharp Advanced Presentation Software Professional Edition」)アイコンをダブルクリックする。
 - ② 「オプション(O)」メニューで、「自動起動 入/切」を選ぶ。
 - ③ 「自動起動 切」を選ぶ。
 - ④ SAPS(またはSAPSプロ)を終了する。

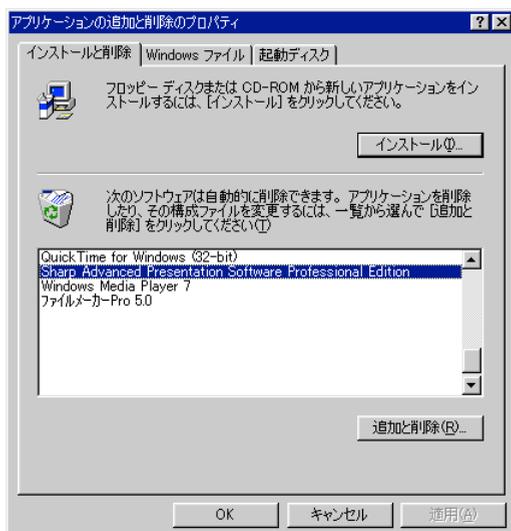
▶ アンインストールする

- 1** パソコンの「スタート」ボタンをクリックし、「設定(S)」から「コントロールパネル(C)」を選びます。
- 2** 「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。



アプリケーションの
追加と削除

3 「Sharp Advanced Presentation Software Professional Edition」を選びます。

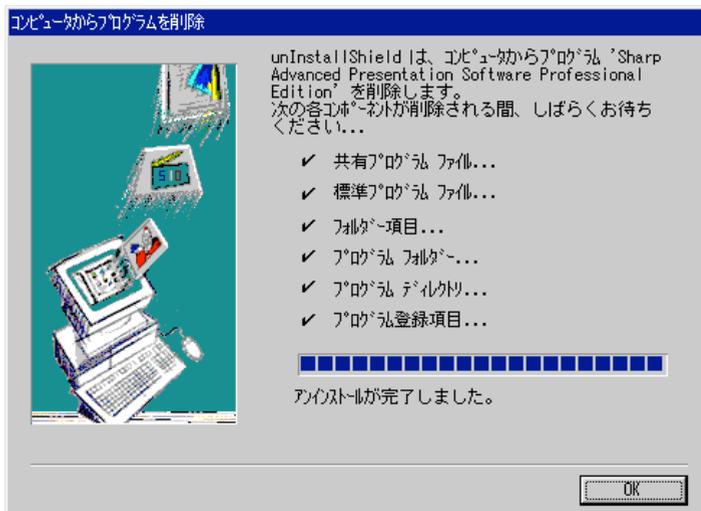


4 「追加と削除(R)...」ボタンをクリックします。

5 「はい(Y)」をクリックします。



- 6 アンインストールが完了すると、「アンインストールが完了しました。」のメッセージが表示されます。「OK」をクリックします。



画像を送信できない、あるいは通信中エラーが発生する

- 接続形式が正しく設定されていますか。
- 送信する画像サイズが1280 x 1024かそれ以下になっていますか。

ケーブル(RS-232CまたはLAN)接続の場合

- 「プロジェクト設定」内のボーレートまたは「スキャン設定」内の送信速度の設定が、液晶プロジェクターのOSD表示内の「RS-232C」で設定されている通信速度と合っていますか。
- パソコン側で、RS-232CケーブルまたはLANケーブル接続に使用するポートが正しく指定されていますか。
- ケーブルが正しく確実に接続されていますか([6ページ](#))。

赤外線通信(IrCOM)の場合

- 液晶プロジェクターの赤外線通信(IrCOM)用赤外線受光部とパソコンの赤外線送信部の間隔が1メートル以内で、水平および垂直方向の角度30°以内に設置してありますか。
- 液晶プロジェクターとパソコンの間に障害物がありませんか。
- 周囲の光が強くありませんか。日光や蛍光灯の光などの強い照明が赤外線通信の障害になることがありますので、強い照明のもとでのご使用はお避けください。
- 液晶プロジェクターが「赤外線通信」モードになっていますか。パソコンから画像を送信する前に、プロジェクターを「赤外線通信」モードに設定してください。(液晶プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。) プロジェクター側で、"IrCOM stand by"または"IrCOM stand by Waiting for Data"とOSD表示されます。
- パソコン側の赤外線通信(IrDA)ポートの設定が正しく、またアクティブになっていますか。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 「[プロジェクト設定](#)」(28ページ)の「接続形式」が正しく設定されていますか。
- パソコン側の設定で、赤外線通信のポートが正しく指定されていますか。
- Windows 95をお使いの場合、Microsoft社製Windows 95用赤外線通信ドライバVer.2.0がインストールされていますか([5ページ](#))。
- 表示モードが画像と合っていますか。(通常の画像送信の場合、24ビット(True Color)以下。カスタム画像送信の場合、256色以下のBMP形式。)
- Windows NTを使用していませんか。Windows NTは赤外線通信をサポートしていません。

本ソフトウェアの機能

- RS-232CケーブルまたはLANケーブルを接続し直し、もう一度操作してください。ケーブルが正しく接続されていないため、送信中にエラーが発生した可能性があります。
- RS-232Cケーブル接続に使用するポートが、パソコン側で正しく設定されていますか(23ページ)。
- SAPSプロの指示と液晶プロジェクターの設定が合っていますか。液晶プロジェクター側の「電源入/切」状態、「入力切換」(コンピュータ/ビデオ)選択、あるいは入力信号の選択などを確認してください。再確認後、もう一度SAPSプロを操作してください。
- SAPSプロでガンマ補正を行う前に、液晶プロジェクターのガンマ補正(GAMMA)ボタンでユーザー設定モードに設定してください。

送信速度が遅い

- 送信中は、リモコンを使用しないでください。
- 圧縮率の設定を確認してください(20ページ)。
- RS-232Cケーブルによる接続の場合は、送信速度を確認してください(23ページ)。
- オープニング画面や無信号時画面のカスタムイメージの設定は、「低速送信(高品位)」に固定されています。
- クイック送信の設定は「中速度(普通画質)」に固定されています。
- 送信に使用するパソコンが IrDA 1.1 をサポートしているか確認してください。
- パソコン側の通信速度を確認し、4Mbpsの場合、IrDA 1.1 ドライバーがインストールされているか確認してください。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご参照ください。

通信速度4Mbps での赤外線通信(IrDA)ができない

4Mbpsの赤外線通信がうまくいかないときは、通信速度を115kbps に変更します。次の方法で、通信速度を変更することができます。

- ① Windowsの「スタート」ボタンをクリックし、「設定(S)」を選びます。
- ② 「コントロールパネル(C)」を選択します。
- ③ 「赤外線モニター」アイコンをダブルクリックします。
- ④ 「オプション」タブをクリックします。
- ⑤ 「通信速度を制限する(L)」チェックボックスをクリックしてチェックを入れ、通信速度を115kbpsに変更します。

オープニング画面を保存できない

- 送信中に液晶プロジェクターの電源を切らないでください。送信データが失われます。

画質が悪い

- 圧縮率の設定を確認してください([20ページ](#))。
- クイック送信の設定は「中速度(普通画質)」に固定されています。

送信速度を早くできない、画質を良くできない

- JPEG形式で保存された画像ファイルの場合は、圧縮率の変更はできません。BMP形式の画像ファイルのみ、変更可能です。

送信速度を変更したが、ガンマ補正のスピードが早くない

- 送信速度は画像を送信するときの速度です。ガンマ値の送信速度は9600bpsに固定されています。

用語集

用語	意味	ページ
1台コントロール	パソコンから1台の液晶プロジェクターを操作します。	68
圧縮率	パソコンからモニターへ送信する際の画像の圧縮率です。	20
エラー履歴一覧	「プロジェクター複数台操作」モードで発生したエラーの一覧を表示します。	57
オープニング画面	プロジェクターの電源を入にしたとき表示される画像。XG-V10Wでは、無信号時画面と同じ画像が表示されます。	37
オプション	メインメニュー項目の一つです。	19
カスタム画像	オープニング画面および無信号時画面で表示される画像です。	37
カスタム画像送信	カスタム画像を液晶プロジェクターに送信します。(新たにカスタム画像が送信されて上書きされない限り、画像は液晶プロジェクターのメモリーに保存されます)	37
画像送信	現在パソコンのモニターに表示されている画像を送信します。	43
画像送信	画像を液晶プロジェクターに送信します。カスタム画像送信の場合と異なり、送信した画像はプロジェクター側のメモリーに保存されません。	41
ガンマ	ある色彩の液晶プロジェクター上の設定値です。	62
ガンマ補正	パソコンから液晶プロジェクターのガンマ値を調整します。	62
管理名	液晶プロジェクターごとにつけた名前です。「プロジェクター名」とは異なり、パスワードが設定されている場合、正しくパスワードを入力しないと変更することができません。	52
キーロックレベル	プロジェクター本体上面の操作ボタンを働かようにするか、ロックさせるかを設定します。	50
クイック送信	現在パソコンのモニターに表示されている画像を簡単な操作で送信します。	45
グループ設定	「プロジェクター複数台操作」モードで、プロジェクターをグループ単位で操作するための設定を行います。	31
自動起動 入/切	パソコンの起動と同時にSAPSプロを立ち上げるかどうかの設定です。	19

用語	意味	ページ
スキャン	接続されている液晶プロジェクターをすべて検知し、自動的に識別します。	21
スキャン設定	COMポートとIPアドレスを指定して、スキャンを行えるようにします。	21
スライドショー	指定したフォルダ内の画像を順次送信します。	40
操作台数モード	1台のプロジェクターを操作するか、複数台のプロジェクターを操作するかを選択します。	16
送信モード	カスタム画像送信か通常の画像送信かを選択します。	37
ドラッグ&ドロップ	マウスを使って、項目を選択し修正する方法です。	64
パスワード	パスワードを設定することにより、各メニューの設定内容を修正できないようにすることができます。	47
ファイル	メインメニュー項目の一つです。	16
複数台コントロール	パソコンから複数台の液晶プロジェクターを同時に操作します。	29
プロジェクター設定	プロジェクターへの送信方式を設定します。	23
プロジェクター名と管理名	「プロジェクター名」および「管理名」の設定・変更を行います。	52
プロジェクター名	液晶プロジェクターごとに自由に名前をつけることができます。この名前は「管理名」とは異なり、誰でも自由に変更することができます。	52
ヘルプ	SAPSプロのヘルプ機能です。	18
無信号時画面	入力信号がないとき表示される画像。XG-V10Wでは、オープニング画面と同じ画像が表示されます。	37
モード	メインメニュー項目の一つです。	17
AVミュート	ブラックスクリーンと消音を同時に「入」にします。	29
COM	通信ポートのことです。	6
BMP	画像ファイル形式の一つです。	37
ID番号	複数台の液晶プロジェクターを同時に操作する場合に、個々のプロジェクターを特定するための番号です。	21
IP	「インターネット・プロトコル」の略称です。	21
IPアドレス	ネットワーク上のコンピュータを特定するためのアドレスです。	21

用語	意味	ページ
IrCOM	シャープ製品の赤外線通信です。	5
IrDA	赤外線通信規格の標準化団体の略称ですが、規格名としても用いられます。	5
JPEG	画像ファイル形式の1つです。	4
LAN	限られた範囲での情報機器間のデータのやりとりをするためのネットワーク(ローカル・エリア・ネットワーク)をさします。	6
RS-232C	多くのパソコンが装備しているシリアル通信方式です。	6

PDF取扱説明書について

このソフトのCD-ROMには、PDF形式の取扱説明書が入っています。取扱説明書をパソコンの画面上で読みながら操作することができます、便利です。

Adobe Acrobat Reader 4.0Jをインストールする

SAPSプロのPDF取扱説明書を見るためには、お使いのパソコンにAdobe Acrobat Readerがインストールされている必要があります。もしインストールされていないときは、「SAPSプロ CD-ROM」に入っているAdobe Acrobat Readerをインストールしてください。

メモ

Adobe Acrobat Readerのインストール方法について詳しくは、液晶プロジェクター本体の取扱説明書をご覧ください。

SAPSのPDF取扱説明書を見る

SAPSプロのPDF取扱説明書の見かたについて詳しくは、液晶プロジェクター本体の取扱説明書をご覧ください。

液晶プロジェクター機種別対応機能一覧

他の液晶プロジェクターと組み合わせて使用した場合の、SAPSプロの機能の対応・非対応は下表のとおりです(○は「対応」、「-」は「非対応」を示します)。

		V10WJ			P10XJ		XV-N1500		XV-NV1 XV-X1050 XV-N800 XV-N1100	
		1台接続	複数台接続 ID番号不使用	複数台接続 ID番号使用	1台接続	複数台接続	1台接続	複数台接続	1台接続	複数台接続
RS-232Cケーブル接続	RS-232Cコントロール	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ガンマ補正	○	-	-	○	-	○	-	-	-
	プレゼンテーション送信	○	-	-	○	-	○	-	-	-
赤外線通信 (IrCOM/IrDA)	RS-232Cコントロール	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ガンマ補正	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	プレゼンテーション送信	-	-	-	-	-	○	-	-	-
LANケーブル接続	RS-232Cコントロール	○	-	○*1	-	-	-	-	-	-
	ガンマ補正	○	-	-	-	-	-	-	-	-
	プレゼンテーション送信	○	-	-	-	-	-	-	-	-

*1：拡張カード(別売)が必要。

メニュー	V10WJ			P10XJ		XV-N1500		XV-NV1 XV-X1050 XV-N800 XV-N1100	
ファイル									
開く	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プロジェクター設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
操作台数設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スキャン設定	-	-	○	-	-	-	-	-	-
調整内容セーブ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
調整内容ロード	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ガンマ補正データセーブ	○	○	○	○	○	○	○	-	-
ガンマ補正データロード	○	○	○	○	○	○	○	-	-
終了	○	○	○	○	○	○	○	○	○
モード									
画像送信	○	-	-	○	-	○	-	-	-
プレゼンテーション送信	○	-	-	○	-	○	-	-	-
ガンマ補正	○	-	-	○	-	○	-	-	-
1台コントロール	○	-	-	○	-	○	-	○	-
複数台コントロール	-	○	○	-	○	-	○	-	○
ビデオウォール設定	-	-	○	-	-	-	-	-	-
オプション									
自動起動 入/切	○	○	○	○	○	○	○	○	○
圧縮率	-	-	-	○	○	○	○	-	-
コントロールオプション									
プロジェクタータイマーコントロール	-	○	○	-	○	-	○	-	○
パスワード	○	○	○	○	○	-	-	-	-
キーロックレベル	○	○	○	○	○	-	-	-	-
プロジェクター名と管理名	○	○	○	-	-	-	-	-	-
グループ設定	-	○	○	-	○	-	○	-	○
メールアドレス帳	-	○	○	-	○	-	○	-	○
メール送信条件設定	-	○	○	-	○	-	○	-	○
メール送信設定	-	○	○	-	○	-	○	-	○
エラー履歴一覧	-	○	○	-	○	-	○	-	○
環境設定	-	○	○	-	○	-	○	-	○

ID番号の使用はV10WJのみ可能。

お客さまご相談窓口のご案内

シャープ製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は
お買いあげの販売店へ

なお、転居されたり、贈答品などで保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記のご窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入などのご相談は…………… **修理ご相談窓口** へ
(注)*印の窓口は『持ち込み修理及び部品購入』のご相談窓口です。
なお、この地域の出張修理はCSセンターにご相談ください。
- 製品に対するご意見・ご要望などは…………… **一般ご相談窓口** へ

修理ご相談窓口

シャープエンジニアリング株式会社

担当地域	拠点名	電話番号	所在地
北海道	CSセンター	(011)641-4690	
	〔*札幌〕	(011)641-4685	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
	北見	(0157)36-4649	北見市三輪435
	帯広	(0155)21-6925	帯広市西8条南3-17
	苫小牧	(0144)34-7740	苫小牧市本町2-6-10
	室蘭	(0143)45-4649	室蘭市中島町1-9
	釧路	(0154)25-4649	釧路市光陽町8-13
	旭川	(0166)25-4649	旭川市一条通4-左10
	函館	(0138)51-4649	函館市五稜郭町31-17
青森県	青森	(0177)38-0281	青森市妙見3-3-4
	弘前	(0172)27-4649	弘前市豊田3-5-1
	八戸	(0178)44-4649	八戸市小中野2-8-16
秋田県	秋田	(018)863-4649	秋田市川尻町大川反170-56
	横手	(0182)33-4649	横手市横手町六の口5
岩手県	岩手	(019)638-6087	紫波郡矢巾町流通センター南3-1-1
	釜石	(0193)23-4649	釜石市上中島町4-6-43
宮城県	CSセンター	(022)288-9250	
	〔*宮城〕	(022)288-9142	仙台市若林区卸町東3-1-27
山形県	山形	(023)631-4649	山形市飯田2-7-43
	酒田	(0234)24-4649	酒田市大町19-5
福島県	福島	(024)945-4649	郡山市安積町荒井方八丁33-1
	会津若松	(0242)25-4649	会津若松市山見町41-2
	いわき	(0246)28-4649	いわき市自由ヶ丘37-10
新潟県	CSセンター	(025)285-1513	
	〔*新潟〕	(025)285-3663	新潟市上所中1-7-21
	〔*長岡〕	(0258)23-1819	長岡市摂田屋町崩2600
栃木県	CSセンター	(03)5692-7722	
	〔*栃木〕	(028)637-1179	宇都宮市不動前4-2-41
	〔*小山〕	(0282)62-5466	下都賀郡藤岡町藤岡5201
群馬県	CSセンター	(03)5692-7722	
	〔*群馬〕	(027)252-4706	前橋市問屋町1-3-7
茨城県	CSセンター	(03)5692-7722	
	〔*茨城〕	(029)241-4930	水戸市千波町1963
	〔*南茨城〕	(0298)57-9130	つくば市栗原2857-9
埼玉県	CSセンター	(03)5692-7722	
	〔*埼玉中央〕	(048)666-7987	大宮市宮原町2-107-2
	〔*埼玉東〕	(0489)78-7101	越谷市南荻島346-1
千葉県	CSセンター	(03)5692-7722	
	〔*千葉〕	(043)299-8840	千葉市美浜区中瀬1-9-2
	〔*西千葉〕	(0473)68-4766	松戸市稔台295-1

担当地域	拠点名	電話番号	所在地
千葉県	*東千葉	(0479)79-1181	八日市場市高字東 2779-4
	*木更津	(0438)37-7912	木更津市請西 2-5-22
東京都	CSセンター	(03)5692-7722	
	*江東	(03)3626-4642	東京都墨田区石原 2-12-3
	*城南	(03)3776-2419	東京都大田区南馬込 1-5-15
	*城北	(03)3972-4195	東京都板橋区東新町 1-33-11
	*世田谷	(03)3707-3345	東京都世田谷区用賀 3-8-18
	*田端	(03)5692-7765	東京都北区東田端 2-13-17
神奈川県	*三多摩	(042)586-6059	日野市日野台 5-5-4
	CSセンター	(03)5692-7722	
	*横浜	(045)753-4647	横浜市磯子区中原 1-2-23
山梨県	*湘南	(0463)54-4738	平塚市田村 1381
	*相模原	(0427)59-4195	相模原市横山 2-2-12
	CSセンター	(03)5692-7722	
静岡県	*山梨	(055)228-5375	甲府市富竹 2-1-17
	CSセンター	(054)285-9360	
長野県	*静岡	(054)285-9340	静岡市曲金 6-8-44
	*沼津	(0559)22-5249	沼津市宮前町 11-4
	*浜松	(053)463-4680	浜松市植松町 1476-2
愛知県	CSセンター	(026)293-6612	
	*松本	(0263)27-4694	松本市芳野 8-14
	*長野	(026)293-6262	長野市篠ノ井塩崎東田沢 6877-1
岐阜県	CSセンター	(052)332-5880	
	*名古屋	(052)332-2623	名古屋市中区山王 3-5-5
	*岡崎	(0564)24-2343	岡崎市柿田町 1-21
三重県	*豊橋	(0532)53-4647	豊橋市下地町橋口 17-1
	CSセンター	(052)332-5880	
	*岐阜	(058)273-4969	岐阜市六条南 3-12-9
富山県	*濃飛	(0574)26-4626	可児市土田下切 3832-1
	CSセンター	(052)332-5880	
石川県	*三重	(059)232-6300	津市栗真町屋町蒲池 328
	CSセンター	(076)269-1875	
福井県	*富山	(076)451-2459	富山市金泉寺 71-1
	CSセンター	(076)269-1875	
滋賀県	*金沢	(076)249-2434	石川郡野々市町御経塚町 1096-1
	CSセンター	(076)269-1875	
	*福井	(0776)54-2459	福井市北四ツ居町 625
京都府	CSセンター	(06)6795-2899	
	*滋賀	(077)545-4692	大津市栗林町 11-35
	*彦根	(0749)24-4643	彦根市東沼波町 133
大阪府	CSセンター	(06)6795-2899	
	*京都	(075)672-2378	京都市南区上鳥羽菅田町 48
	*北近畿	(0773)23-9151	福知山市末広町 6-13
	*大阪	(06)6643-5331	大阪市浪速区恵美須西 1-2-9
	*堺	(0722)45-4651	堺市老松町 1-39
	*大阪TC	(06)6794-5611	大阪市平野区加美南 3-7-19
(兵庫県)	*南大阪	(0724)31-1950	貝塚市沢 1215
	*北大阪	(0726)34-4519	茨木市鮎川 5-15-3
	*阪神	(06)6421-4877	尼崎市猪名寺 3-2-10
	CSセンター	(06)6795-2899	
兵庫県	*兵庫	(078)791-1541	神戸市須磨区弥栄台 3-15-2
	*神戸	(078)453-4651	神戸市東灘区魚崎北町 1-6-18
	*姫路	(0792)66-1819	姫路市青山 5-7-7
	*豊岡	(0796)23-7515	豊岡市九日市上町下畑 77-1

担当地域	拠点名	電話番号	所在地
奈良県	CSセンター	(06)6795-2899	大和郡山市美濃庄町492 御所市茅原4-3
	{ *奈良	(0743)53-6693	
	{ *奈良南	(0745)65-1492	
和歌山県	CSセンター	(06)6795-2899	和歌山市西小二里2-4-91 田辺市稲成町441-1
	{ *和歌山	(073)445-4615	
	{ *南紀	(0739)25-3121	
鳥取県	鳥取	(0857)27-8831	鳥取市青葉町2-204
岡山県	CSセンター	(086)292-1707	都窪郡早島町矢尾828
	{ *岡山	(086)292-1709	
島根県	CSセンター	(0852)24-4811	松江市西津田3-1-10
	{ *松江	(0852)24-4810	
広島県	CSセンター	(082)874-8071	広島市安佐南区西原2-13-4
	{ *広島	(082)874-8149	
	CSセンター	(0824)28-7448	東広島市八本松東4-3-30
	{ *東広島	(0824)28-7490	
	CSセンター	(0849)51-7644	
{ *福山	(0849)51-7654	福山市津之郷町津之郷上開地	
山口県	CSセンター	(083)972-0870	吉敷郡小郡町若草町4-12 下西市西豊井173-1
	{ *山口	(083)972-0891	
	{ *東山口	(0833)44-0923	
香川県	CSセンター	(087)823-5513	高松市朝日町6-2-8
	{ *香川	(087)823-4901	
徳島県	CSセンター	(088)625-4684	徳島市中常三島町3-11-14
	{ *徳島	(088)625-4654	
愛媛県	CSセンター	(089)971-4729	松山市高岡町178-1
高知県	CSセンター	(0888)82-4021	高知市高須960-1
	{ *高知	(0888)82-4635	
福岡県	CSセンター	(092)586-1122	福岡市博多区井相田2-12-1 久留米市御井旗崎3-7-14 北九州市小倉北区大手町6-12
	{ *福岡	(092)572-4652	
	{ *南福岡	(0942)45-8211	
	{ *北九州	(093)592-4677	
佐賀県	CSセンター	(092)586-1122	佐賀市鍋島町八戸五本松籠2043-2
	{ *佐賀	(0952)24-9450	
長崎県	CSセンター	(095)844-1870	大村市古賀島町613-3 佐世保市白岳町107-5
	{ *長崎	(0957)52-3511	
	佐世保	(0956)32-6666	
大分県	CSセンター	(097)552-9416	大分市松原町3-5-3
	{ *大分	(097)552-2313	
熊本県	CSセンター	(096)366-7070	熊本市新屋敷3-15-17 本渡市港町19-3
	{ *熊本	(096)364-4777	
	天草	(0969)23-8711	
宮崎県	CSセンター	(0985)31-1823	宮崎市原町4-12 北諸県郡三股町大字蓼池624-1
	{ *宮崎	(0985)31-1832	
	{ *都城	(0986)52-1311	
鹿児島県	CSセンター	(099)253-0250	鹿児島市鴨池新町12-1
	{ *鹿児島	(099)253-4600	

沖縄シャープ電機株式会社

担当地域	拠点名	電話番号	所在地
沖縄県	那覇	(098)861-0866	那覇市曙2-10-1
	先島	(09807)3-3603	平良市下里1178-5
鹿児島県	奄美	(0997)53-4777	名瀬市塩浜町8-1

一般ご相談窓口

シャープ株式会社

東日本相談室	TEL(043)297-4649 FAX(043)299-8280	〒261-8520 千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL(06)6621-4649 FAX(06)6792-5993	〒547-0003 大阪市平野区加美南4-3-41

シャープエンジニアリング株式会社

北海道支店消費者相談室	(011)642-4649	〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北支店消費者相談室	(022)288-9147	〒984-0002 仙台市若林区卸町東3-1-27
首都圏支店消費者相談室	(03)3893-4649	〒114-0013 東京都北区東田端2-13-17
中部支店消費者相談室	(052)332-4649	〒454-8721 名古屋市中川区山王3-5-5
近畿支店消費者相談室	(06)6794-7041	〒547-8510 大阪市平野区加美南3-7-19
中国支店消費者相談室	(082)874-4649	〒731-0113 広島市安佐南区西原2-13-4
四国支店消費者相談室	(087)823-4901	〒760-0065 高松市朝日町6-2-8
九州支店消費者相談室	(092)572-4655	〒816-0081 福岡市博多区井相田2-12-1

所在地・電話番号などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(00.10)

：//カーブ。株式会社

本	社	〒545-8522	大阪市阿倍野区長池町22番22号 電話06(6621)1221(大代表)
AVシステム事業本部		〒329-2193	栃木県矢板市早川町174番地 電話0287(43)1131(大代表)